

令和 2 年度

臨床実習の手引き

〔必修基本実習〕

島根大学医学部

臨床実習について

本学医学科における臨床実習は、5年次3月から6年次11月までの73週間（変更になることがあります）にわたって、病棟および外来での実習（本学医学部附属病院を中心に関連教育病院・診療所を含む）で行われる重要な卒前医学教育課程である。

実習は、以下の5つの実習から構成されている。

1. 必修基本実習（45週）

内科〈8科〉、外科〈2科〉、小児科、整形外科、産科婦人科、耳鼻咽喉科、

麻酔科・緩和ケア、精神科神経科：各2週

皮膚科、脳神経外科、泌尿器科、眼科、放射線科、救急医学、歯科口腔外科、

Acute Care Surgery：各1週

地域医療・総合医療学：あわせて1週

臨床検査医学・検査部・輸血部・病理部・薬剤部：あわせて1週

2. 地域医療病院実習（5年次2週必修，6年次選択）

3. 選択実習

4. 島根県立中央病院実習

5. その他：乙立里家診療所（地域医療教育学実習中，半日を数回），出雲市内診療所実習（地域医療教育学実習中，半日を数回）

まず、5年次必修基本実習においては、附属病院の全診療科をローテーションして実習を行うが、9月から地域医療病院実習を行う。6年次選択実習では、本院診療科、島根県立中央病院、県内地域医療機関において選択希望により実習を行う。

臨床実習は、可能な限り、学生が医療チームの一員として実際の診療に参加する診療参加型形式の実習（クリニカルクラークシップ）を行うようにしており、実習の到達度については、学生、教員双方が端末からCC-Webに入力する。臨床実習は、学生自身が直接患者さんに接して実習を行うものであり、とりわけ、クリニカルクラークシップにおいては、当然のこととして、学生にも一定レベル以上の医学知識・技術・態度が求められ、自らの主体性と責任感をもった上で実習に臨む必要があり、本手引きに記載されている注意事項を事前に熟読し、実習に臨まなければならない。

目 次

I. クリニカルクラークシップとは	1
II. 学習目標	1
III. 医学生の臨床実習において、一定条件下で許容される基本的医行為	1
IV. クリニカルクラークシップにおける 1 日の流れ	2
V. 学生の正規カルテへの記録について	3
VI. 個人情報の保護について	4
VII. 学生の遵守事項	4
VIII. 評価・単位認定の要件	5
IX. 感染事故への対応	5
X. 賠償責任保険加入の勧め	6
XI. 臨床技能開発ラボ備品一覧	7

必修基本実習

臨床実習学生名簿	10
臨床実習グループ別日程表	13
内分泌代謝内科	15
腫瘍・血液内科	17
消化器内科，肝臓内科	19
脳神経内科	21
膠原病内科	23
循環器内科	25
腎臓内科	26
呼吸器・臨床腫瘍学（呼吸器・化学療法内科）	28
皮膚科	30
小児科	31
消化器・総合外科	33
循環器・呼吸器外科，心臓血管外科	35
呼吸器外科メイン	37
整形外科	39
脳神経外科	40
泌尿器科	41
精神科神経科	42
産科婦人科	44
耳鼻咽喉・頭頸部外科学	46
眼科	48
放射線科・放射線治療科	49
麻酔科・緩和ケア	51

歯科口腔外科	53
臨床検査医学 検査部・輸血部・病理部・薬剤部	54
救急医学	56
Acute Care Surgery	58
地域医療・総合医療学	60
医学部附属病院案内図	63

I. クリニカルクラークシップとは

クリニカルクラークシップ (clinical clerkship) とは、従来の見学型臨床実習とは異なり、学生が医療チームの一員として実際の診療に参加し、より実践的な臨床能力を身に付ける臨床参加型実習のことである。クラーク (clerk) とは、書記、事務員を意味しており、学生が上級医の指導の下で「クラーク」として患者を受け持つことで実際の医療の基本を修得する。従って、クリニカルクラークシップでは、学生はstudent doctorとして診療に参加し、指導医の指導・監視の下で一定の範囲内での医行為を実践することが許容される。学生は、自らの主体性と責任感をもって学ぶことが求められている。

II. 学習目標

将来医師として必要な以下に示す実践的臨床能力を修得することを目標とする。

- ◆ 患者や指導医、病棟スタッフと良好な関係を築く能力
- ◆ 患者から情報を的確に聞きだし、まとめる能力
- ◆ 身体所見を正しくとり、診療内容を記載する能力
- ◆ 要点を把握し、プレゼンテーションする能力
- ◆ 基本的検査・基本的操作処置を実施する能力
- ◆ 問題点を抽出し、解決に向かって系統的にアプローチする能力
- ◆ 患者から得た情報と臨床病態学の知識を統合する能力
- ◆ 学習に必要な情報を図書館やコンピューターを使って見つける能力

III. 医学生の臨床実習において、一定条件下で許容される基本的医行為

レベルⅠ 指導医の指導・監督のもとに実施が許容されるもの

レベルⅡ 状況によって指導医の指導・監視のもとに実施が許容されるもの

各診療科における許容される基本的医行為については、WEB版クリニカルクラークシップ診療科別チェックリストを参照すること。

Ⅳ. クリニカルクラークシップにおける 1 日の流れ

《初日のオリエンテーション》

- ◆ 初日、学生は指定された場所に集合し、オリエンテーションを受ける。時間厳守する。
- ◆ 指導医より、診療チームの紹介および受け持ち患者の紹介が行われる。また、指導医等との連絡方法を確認する。
- ◆ 回診、症例カンファレンス、レクチャーなど当該診療科での行事およびプレゼンテーションについて確認する。

《毎日の流れ》

- ◆ 指導医が朝病棟に来る前に、受け持ち患者の看護記録に目を通したうえ、自分で回診・診察し病状を把握する。また、問題点を整理しておく。
- ◆ チーム回診に参加し、受け持ち患者については口頭で提示する。
- ◆ 指導医とディスカッションを行い、今後の方針を決定すると同時に、診察内容をカルテに記載する。この際、記載内容についての指導医の点検（加筆・訂正）をうける。
- ◆ 不明な点、問題点は、指導医と相談するが、自主的に文献等を検索して解決へ向けての学習を行う。
- ◆ 症例カンファレンス、レクチャーには必ず参加し、受け持ち患者についてはプレゼンテーションを行う。
- ◆ 新患の医療面接や身体診察を行い、回診やカンファレンスでプレゼンテーションを行う。
- ◆ 受け持ち患者の検査、処置、手術、他科紹介等には必ず出向き、指導医の指導を受ける。
- ◆ 医行為は、水準によっては指導医の指導のもと実施する。
- ◆ 患者、家族に対する病状説明や治療方針の話し合いなどにも参加する。
- ◆ 病棟を離れる場合は、指導医の許可を得る。
- ◆ 帰宅時は、必ず指導医に報告し、その日のまとめとチェックをしてもらう。

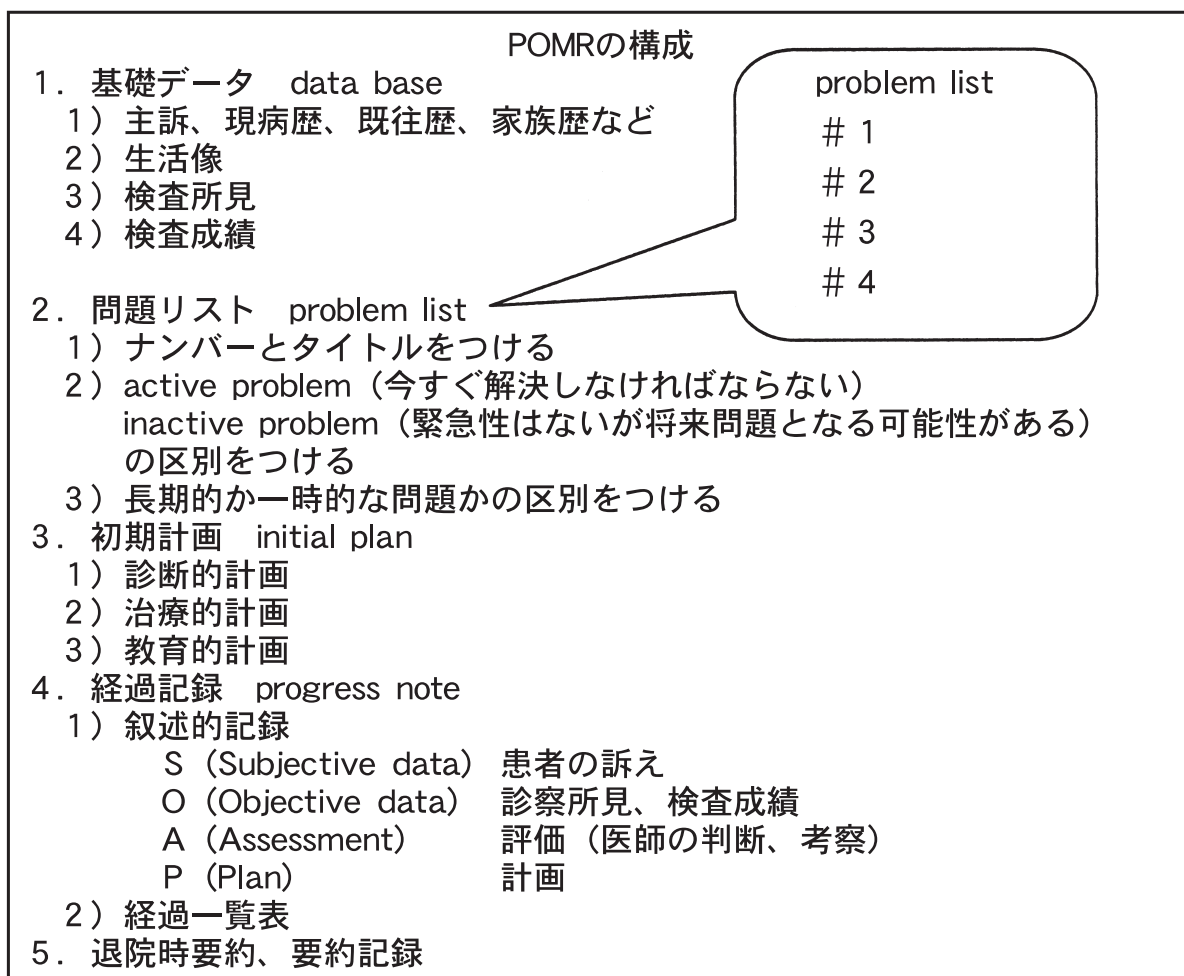
V. 学生の正規カルテへの記録について

《カルテの位置づけ》

- ◆ カルテ（診療録）は患者のものであり、かつ公文書である。
- ◆ カルテは医師だけでなく医療チーム全体が使用し利用するものである。
- ◆ カルテは開示を前提に記載する。
- ◆ 学生の正規カルテの記録は、医師の補助者による記録として扱われる（看護師による看護記録と同様）。

《カルテの管理》

- ◆ 個人情報（プライバシー）の保護、遵守には格別留意する
- ◆ カルテ記録の複製及び持ち出しは厳禁
- ◆ POMRとは、POS（Problem Oriented System：問題志向型診療システム）に基づいて系統的・合理的思考に従って診療の過程を記録することである。
- ◆ 第2病日以降の症状、診察所見等はSOAP（Subjective, Objective, Assessment, Plan）形式で記載する。



《カルテの入力》

- ◆ 毎日記載する。
- ◆ 一般的に認められていない略語は用いないこと。
- ◆ 医学的に妥当適切な傷病名を使用する。
- ◆ 指導にあたる医師は、記録内容を監査し、慎重に加筆、訂正等を行う。
- ◆ Don't 入力してはいけないこと

- | |
|---|
| <ul style="list-style-type: none">➤ 医療に不必要な患者のプライバシー➤ 患者に対する個人的な感情➤ 他の医療者についての無用のコメント |
|---|

VI. 個人情報保護について

- ◆ 平成17年4月1日から「個人情報保護法」が全面施行されたことに伴い、本学医学部では、学生は臨床実習に入る前に個人情報保護についての「誓約書」を提出することとする。

VII. 学生の遵守事項

《患者（家族）さんとのコミュニケーション》

- ◆ 初対面時は指導医に紹介してもらい、自分でも自己紹介をすること。
- ◆ 丁寧な言葉遣いで話し、専門用語は使わないこと。
- ◆ プライバシーを遵守すること（守秘義務）。
- ◆ 思いやりの気持ちをもって接すること。
- ◆ 患者さんの言葉に耳を傾けること（傾聴）。
- ◆ 患者さんの身体面、精神面に配慮すること。
- ◆ 医療面接や身体診察に時間を取りすぎないこと。時間がかかる場合は、了解をえて、数回にわけて行い、患者さんの負担に十分配慮すること。
- ◆ 毎日コミュニケーションをとり、訪室すること。
- ◆ 訪室時間を患者さんと相談して決めた場合は、その時間を厳守する。また、消灯時間を厳守する。
- ◆ 診断や治療方針を学生自ら伝えてはならない。例えば、患者さんから「癌でないでしょうか」と尋ねられたときは、「癌ではないかとお心配なのですね。しかし、私にはよくわからないので、〇〇さんが、ご自分が癌ではないかと心配されていることを指導医の先生に伝えます。」などと答えるようにすること。

- ◆ 患者さん、家族からクレームがあった場合は、速やかに指導医に連絡・報告する。

《チームスタッフ等とのコミュニケーション》

- ◆ 時間厳守する。
- ◆ 欠席、遅刻、早退の場合は、速やかに指導医に連絡する。
- ◆ 実習中、無断で持ち場を離れたりしないこと。必要があつて持ち場を離れたり、帰宅する場合は、指導医に連絡し、許可をもらうこと。
- ◆ 医師、看護師、技師、その他医療従事者に対して挨拶をすること。
- ◆ 主治医や指導医とは毎日連絡・コミュニケーションをとること。
- ◆ 困ったことがあれば速やかに相談すること。

《その他》

- ◆ 医行為は必ず指導にあたる医師の指導・監視のもとで行うこと。
- ◆ 医行為により患者に障害が起こった場合は、直ちに指導医に連絡・報告する。
- ◆ 針刺し等の事故発生時は、直ちに指導医に連絡・報告する。

VIII. 評価・単位認定の要件

- ◆ 各診療科で実習した項目は、実習手帳に記入し、適宜主治医や指導医などからチェックを受ける。
- ◆ チェックリスト等を参考にして各診療科責任者による個人評価が行われる。その結果は、卒業の単位認定の合否判定として用いられる。

IX. 感染事故への対応

- ◆ クリニカルクラークシップにて病棟実習を行う際、種々の感染症に暴露されるリスクが想定されるため、日頃予防策を講じる必要がある。
- ◆ 病棟実習中は、手洗いをはじめ標準予防策を実践すること。
- ◆ 感染症患者を受け持った場合は、その感染症に応じた感染経路別予防策を講じる必要があり、この場合、指導医の指示に従うこと。
- ◆ 実習に入る前には、麻疹、風疹、ムンプス、水痘・帯状ヘルペスの抗体検査およびB型・C型肝炎の抗体検査を受けておくこと。抗体を保有していない場合は、臨床実習開始までに該当のワクチン接種をする必要がある。(記録は保健管理センターで保管、小児感染症や結核等に暴露された場合や、針刺事故の対応に必要)

- ◆ 排菌性の結核患者に接触した場合は、保健管理センターの指導を受けて対応すること。
- ◆ 針刺し事故が発生した場合は、直ちに血液を絞り出し、洗浄・消毒を行う。また、目に血液等が飛散した場合は、直ちに流水で目を洗う。その後すぐに指導医または主治医に連絡すること。指導医または主治医は、患者の感染性を調べ、保健管理センターの指導を受け速やかに対応する。実際の対応は、院内感染対策ガイドライン「針刺し等事故発生時対応マニュアル」に準じて行う（別紙フローチャート参照）。

X. 賠償責任保険加入の勧め

民事訴訟の結果当該事故について法律上の賠償責任が学生にあるとされた場合、学生が責任を問われる場合がある。しかし、学生が賠償責任保険に加入していれば、故意に起こした事故でないかぎり（例えば、病院内を通行中の患者さんに偶然衝突し障害を負わせた場合）、「国内において、臨床実習中の学生が患者さんに対して行った行為によって、患者さんの身体、生命を害し、また財物を損壊したことにより負担する法律上の賠償責任の全額」が、保険会社より保障される（事故の保障については、事故の状況等を調査した保険会社が決定するため、加入していたからといってすべてに適応されるかどうかは事故の内容によると思われる。）また、このような場合でも、実習の場を管理している病院の経営者も賠償責任を問われる可能性は残る。

「診療参加型臨床実習の実施のためのガイドライン 医学・歯学教育の在り方に対する調査研究協力者会議」より抜粋・一部変更加筆

上記のことより、臨床実習開始前に、全員が賠償責任保険に加入することを勧める。

《学生が加入する保険について》

本学医学部では、「学研災付帯賠償責任保険（医学生教育研究賠償責任保険）」に全員加入している。これは、国内外において正課、学校行事で、他人にケガをさせたり他人の財物を損壊したことにより被る法律上の損害賠償を補償するものである。

その他に医学生を対象とした賠償責任保険があるので、賠償責任および感染予防費用（針刺し事故、院内感染）の補償を含む保険に加入することが望ましい。

XI. 臨床技能開発ラボ備品一覧（外来棟 2 階に設置）

分 類	品 目	目 的 等	数量
診察実習用	生体シミュレーター（イチロー）	心臓病診察	2
	ミスターらんぐ	呼吸音聴診	2
	コードレス聴診教育システム	10人グループで聴診	3
	乳癌触診モデル	乳癌診察	2
	聴くゾウ	聴診デバイス	7
	ナーシングアンシミュレーター	フィジカルアセスメント実習	2
	シナリオ	フィジカルアセスメント実習	1
	眼底鏡（直像鏡）	眼底検査実習	15
	耳鏡	耳検査実習用	15
	腹部アセスメントモデル	腹部触診	1
	頸部リンパ節・甲状腺触診モデル	頸部リンパ節・甲状腺診察	1
	血圧測定トレーナー	正確な血圧測定訓練	4
	心電計	心電図検査訓練	4
	血圧計	血圧測定用	100
	フィジカルアセスメントモデルPhysiko	フィジカルアセスメント実習	3
	超音波トレーニングシミュレータ“ウルトラシム”	超音波検査実習	1
	超音波診断装置（小型）	超音波検査実習	2
	超音波トレーニングファントム	超音波検査実習	1
	超音波トレーニングファントム（外傷モデル）	超音波検査実習	1
	耳の診察シミュレータ“EAR”	耳の診察	4
	バイタルサインベビーⅡ	小児の診察	4
蘇生実習用	蘇生訓練用生体シミュレーター（Sim Man）	フィジカルアセスメント救急蘇生訓練	2
	幼児フィジカルアセスメントシミュレータ（Sim baby）	フィジカルアセスメント救急蘇生訓練	1
	レサシ・ジュニア	小児の心肺蘇生	4
	レサシ・ベビーA	乳児の心肺蘇生	4
	ベビーアン	乳児の心肺蘇生	7
	チョーキング・チャーリー	異物除去訓練	4
	挿管シミュレーター	挿管実習	4
	乳児挿管モデル	乳児の挿管	4
	レサシアンQCPR	成人CPRの評価	4
	レサシジュニアQCPR	小児CPRの評価	4
	乳児フィジカルアセスメントシミュレータ(Sim New B)	フィジカルアセスメント救急蘇生訓練	1
	マッキントッシュ型喉頭鏡 一式	挿管用	6
	アンビューバッグ 一式	人工呼吸	15
	除細動器	除細動	4
	救急蘇生人形（半身モデル）	救急蘇生訓練	15
	救急蘇生人形（全身モデル）	救急蘇生訓練	30
	AEDトレーニングシステム	救急蘇生訓練	15
処置実習用	児頭付透明婦人骨盤模型	分娩実習	1
	外傷模型キット	外傷手当、人形に取付	4
	縫合手技トレーニングセット	皮膚縫合実習	50
	吸引シミュレーター Qちゃん	吸引実習	2

分 類	品 目	目 的 等	数量
処置実習用	採血静注シミュレーター	腕2本付き	11
	動脈採血シミュレーター		2
	腰椎穿刺シミュレーター（成人・小児）	腰椎穿刺実習	各1
	おいたろう	模擬身障者装具	4
	導尿モデル		4
	全身血管シミュレータVIST	血管造影治療訓練	1
	膝関節注射モデル	膝関節穿刺実習	1
	手背の静脈注射シミュレータ（成人用）	手背の静脈注射実習	4
	手背の静脈注射シミュレータ（小児乳児用）	手背の静脈注射実習	2

臨床技能開発システム演習室使用上の注意

臨床技能開発システム演習室の使用にあたっては、下記の事項に留意願います。

1. 演習室は、附属病院2階です。
2. 使用する場合は、クリニカルスキルアップセンターへメール（skill-up@med.shimane-u.ac.jp）で申し込んでください。
3. 使用を許可した場合は、使用日時および入退出方法をメールにて連絡します。
4. 使用機器の使用前、使用後の状態を確認してください。
5. 機器が破損したり、機器に異常が発生した場合は、すみやかにクリニカルスキルアップセンター（内線2551）に届け出てください。なお、不適切使用による破損または重大な過失による紛失の場合は、弁償をして頂くことがあります。
6. 機器の持ち出しは厳禁とします。
7. 使用後は、電源の切断、機器の収納等、機器を原状に復したことを必ず確認してください。
8. 使用後は、照明、空調の電源の確認を行ってください。
9. 退室時は、必ず施錠し、鍵を指定された鍵返却BOXに入れてください。
10. 入室する時は、ゴム底靴を着用してください。革靴、ハイヒールは厳禁です。
11. 上記の注意事項を守らなかった者は、以後、使用の許可を認めません。

必修基本実習

(令和 2.3.23～令和 3.3.12)

内分泌代謝内科

1 集合時間・集合場所

- (1) 集合時間 8:30（月曜日が祝日の場合、火曜日8:30 に集合）
- (2) 集合場所 B 病棟 4 階カンファレンス室

2 実習概要（実習内容）

(1) 外来実習

外来初診患者の予診を担当し、医療面接や診察を行いプロブレムリストの作成と仮診断を行う。続いて確定診断に必要な検査計画を立案し、外来担当医の診察に陪席する。診療後、外来担当医よりフィードバックを受け、外来診療に必要な知識、技能を習得する。

(2) 病棟実習

入院患者を担当し、診察や血糖測定等の自ら実行可能な検査を自ら実施する。また、インスリン自己注射や自己血糖測定などの患者指導や、担当医の監督のもと内分泌負荷試験検査、甲状腺超音波検査等の介助を行う。得られた所見を評価し、治療目標を達成するために必要な検査や治療の計画を立案し、カルテに記載の上、上級生や担当医の指導を受け、治療行為に必要な知識、技能を習得する。

病棟回診前カンファレンスでは、主治医に準じて経過、検査計画、治療計画の報告と、質疑応答を行い、医療従事者に必要な情報伝達能力を習得する。

多職種チームカンファレンスに参加し、他職種連携に医師としてもとめられるスキルを習得する。

症例検討会のクリニカルクエスション作成を担当し、学会活動や生涯教育に必要な発表能力や情報収集能力を獲得する。

実習終了時には、考察を加えた退院時要約に準じたレポートを作成し、医療文書作成能力を獲得する。

(3) シミュレーターを用いた実習

シミュレーターを用いて、医学教育モデルコアカリキュラムに示されている診断の基本項目について、臨床推論技能を習得する。

3 G I O（一般目標）

内分泌代謝疾患の医療従事に必要な医療技能を習得する。

4 S B O（到達目標）

- (1) 医療面接、診察、検査を行うことができる。
- (2) 診察所見、検査結果を解釈し、問題点を列挙することができる。
- (3) 診断・治療に必要な検査計画を立案することができる。
- (4) 医療の遂行に必要な情報伝達ができる。
- (5) 文献等の医療情報の収集ができる。

5 スケジュール

曜日	担当教員	8:30	12:30	13:30	17:00
月	当番担当教員	〈オリエンテーション〉 〈外来病歴の取り方〉 [カルテ回診]			糖尿病カンファレンス 〈インスリン/SMBG使用方法〉
火	教授 他	入退院カンファ・回診 糖尿病回診 病棟患者血糖測定・インスリン 手技確認			症例検討会 [抄読会]
水	当番担当教員	(外来予診), 病棟実習			[臨床推論], 病棟実習
木	当番担当教員	病棟患者血糖測定・インスリン 手技確認			(甲状腺エコー) 病棟実習
金	当番担当教員	臨床推論, 病棟実習			[まとめ]

()は1週目または2週目, 〈 〉は1週目, []は2週目

担当教員：金崎, 山内, 山本, 守田, 田中小, 野津, 小池, 他

担当教員や実習内容の詳細については、担当グループ毎に初日に説明する。

6 評価法

出席, 実習態度, 実施手技項目, クリニカルクエスチョン, レポート, などを総合して判断する。

7 その他注意事項

(1) 医療従事者 (student doctor) である自覚を持つこと。

腫瘍・血液内科

1 集合時間・集合場所

- (1) 集合時間 8:00
- (2) 集合場所 A病棟2階カンファレンスルームさくら
(ただし、初日が火曜日の場合は、8:30にC病棟8階スタッフステーション集合)

2 実習概要（実習内容）

クリニカルクラークシップによる研修を行う。

指導医の指示に従って、組み込まれたチームの一員として、指示された入院患者の準主治医として臨床実習を行う。主治医・指導医の協力の下に、毎日受け持ち患者さんの問診や診察を行い、検査所見などを考察し、プロブレムリストを作成し、それに基づいて病状や病態について理解する。

毎朝、主治医より受け持ち患者さんについて検査や治療方針について確認し、その後の回診に同行する。毎日担当患者を診察し、POS方式により診療録に記載をする。担当患者以外の患者さんの診察も指導医・担当医の許可を得て積極的に行う。毎日、夕方にその日に学習したこと、疑問などを担当医（当番制）に報告し、ディスカッション、習熟度の確認を受ける。これらのことを通じて、日々の研修で理解した患者さんの病状や病態について、プレゼンテーションする能力を身につける。

採血、骨髓穿刺、骨髓生検、腰椎穿刺、中心静脈ルート確保、血液培養などの検査・手技が行われる場合には、見学し、適応や危険性などについて理解する。

身体診察手技、血液培養採取法、末梢血骨髓標本の検鏡などの小レクチャー、外来化学療法室・ミキシング室の見学を期間中に行う。

3 G I O（一般目標）

臨床実習を通して以下の必要な考え方・知識と技術を習得する

- 1. 血液疾患・腫瘍患者の診察およびその留意点
- 2. 血液疾患の診断と治療の考え方とその実際
- 3. 腫瘍患者の診断と治療の考え方および標準治療

4 S B O（到達目標）

- (1) 問診、身体所見、検査所見などから総合的な診断を行うことができる。
- (2) 病歴聴取を含めた基本的診察法を身につける。
- (3) 検査法の概要を理解し、適応や所見の解釈ができる。
- (4) 末梢・骨髓血液標本から得られる異常所見を理解する。
- (5) 腫瘍患者の基本的な画像所見を理解する。
- (6) 化学療法に伴う感染症を理解する。
- (7) 標準的治療法を理解し、適応について判断することができる。

5 スケジュール

< 1 週目 >

毎朝 8時30分 C病棟 8階多目的室に集合

(月曜日のみ, 8時00分にA病棟 2階カンファレンスルームさくらに集合)

スケジュール表がオリエンテーションのときに配布されるので, 確認する

月：午前	抄読会, オリエンテーション
午後	(病棟) 回診・入院患者カンファレンス (新患紹介)
火：午前／午後	病棟実習・ミニレクチャー
水：午前／午後	病棟実習・ミニレクチャー
木：午前／午後	病棟実習・ミニレクチャー
金：午前／午後	病棟実習

< 2 週目 >

毎朝 8時30分 C病棟 8階多目的室に集合

(月曜日のみ, 8時00分にA病棟 2階カンファレンスルームさくらに集合)

月：午前	抄読会・病棟実習
午後	回診・入院患者カンファレンス (2週目の回診時には主治医に代わり受け持ち患者のプレゼンテーションを行う)
火：午前／午後	病棟実習・ミニレクチャー
水：午前／午後	病棟実習・ミニレクチャー, 骨髓標本勉強会
木：午前／午後	病棟実習
金：午前	病棟実習
午後	総括・評価 (担当教員や実習内容については, 担当グループ毎に初日に説明する)

6 評価法

診療記録, プレゼンテーション, 口頭試問, レポート, 出席状況, 実習態度などを総合的に評価する。

7 その他の注意事項

服装, マナーに注意してください。

患者さんのプライバシーの尊重と情報の守秘義務を守ってください。

病棟のコピー機は業務用ですので, 私用で使用しないでください。

病棟にある書籍は無断借用禁止です。借用の際は指導医に申し出てください。また, 借用した場合はみんなが使うものですので, なるべく早く元の場所に返却してください。

病棟では免疫力の低下した患者さんも多いため, 感冒症状や発熱などがあるときには, その日の実習開始前に必ず指導医に報告してください。

臨床実習の目的は, 座学では得られない診察技術とそれを通じた考え方を身につけることです。担当患者以外でも興味がある患者さんの診察は, 積極的に申し出てください。症例を通じて, 知識・技能を点から線, 線から面に広げていってください。

消化器内科，肝臓内科

1 集合時間・集合場所

- (1) 集合時間 8:30
- (2) 集合場所 B病棟7階カンファレンスルーム

2 実習概要（実習内容）

クリニカルクラークシップによる研修を行い，数名の患者さんの診療に参加することを通じて内科系疾患の診断と治療を理解する。

3 G I O（一般目標）

内科疾患の診療に必要な知識と技術を習得する。特に消化器疾患の診療に必要な基礎的知識を習得する。

4 S B O（到達目標）

- (1) 毎朝モーニングラウンドを行い，主治医にレポートできる。
- (2) メディカルインタビュー，基本的診察法を身につける。
- (3) 同時に数種類の疾患の診断，治療計画をたてることができる。
- (4) 自分で診療録を記載することができる。
- (5) 消化器疾患に用いる代表的な薬剤の作用，副作用を述べることができる。
- (6) 内視鏡検査，レントゲン，CT等画像検査を読影することができる。
- (7) 超音波検査を行うことができる。
- (8) 消化器疾患の病態変化を理解し説明できる。

5 スケジュール

次頁参照

6 評価法

カルテおよびインタビューテスト
さらに実習中の各教員による評価

7 その他の注意事項

- (1) 患者さんのプライバシーと情報の守秘義務を守ってください。
- (2) 医師としてのマナーと服装に注意してください。
- (3) 時間厳守です。
- (4) スケジュールは診療等のために変更となることがありますので，各週の実習開始時間は再度説明します。

消化器内科・肝臓内科臨床実習スケジュール

- ・外来実習や内視鏡見学などは(A)(B)の2グループに分けて実習を行う。
- ・下記記載のない時間帯は病棟実習を行う。

		8:30	9:00	13:30	15:00	16:00	17:00	18:00
第1週	月	朝カンファ	(A)外来(B)上部内視鏡	病棟回診			医局カンファ	
	火	朝カンファ	(B)外来(A)エコー	(B)下部内視鏡・ERCP		レクチャー		
	水	朝カンファ	(A)外来	内視鏡実習		レクチャー		
	木	朝カンファ	(B)外来					
	金	朝カンファ	(A)外来			レクチャー		
	土							
第2週	月	朝カンファ	(B)外来(A)上部内視鏡	病棟回診			医局カンファ	
	火	朝カンファ	(A)外来(B)エコー	(A)下部内視鏡・ERCP		レクチャー		
	水	朝カンファ	(B)外来	エコー実習		レクチャー		
	木	朝カンファ	(A)外来					
	金	朝カンファ	(B)外来			レクチャー		
	土							

朝カンファ…7階B病棟カンファレンスルーム

病棟回診…7階B病棟カンファレンスルーム

外来＝外来実習…内科外来ポリクリ室

エコー＝腹部エコー見学…腹部エコー室（1階光学医療診療部）

上部内視鏡＝上部消化管内視鏡見学…内視鏡室（1階光学医療診療部）

下部内視鏡・ERCP下部消化管内視鏡・ERCP見学…中央放射線部透視室

内視鏡実習…内視鏡室

エコー実習…腹部エコー室

レクチャー…医局カンファレンスルーム（第二研究棟5階）

医局カンファ…7階B病棟カンファレンスルーム

脳 神 経 内 科

1 集合時間・集合場所

- (1) 集合時間 8:00 (金曜日は8:30)
- (2) 集合場所 B病棟 5階カンファレンス

2 実習概要 (実習内容)

クリニカルクラークシップによる指導を基本とする。学生は入院患者（学生2～3人で1人の患者）を担当し、医療チームのメンバーの1人として行動する。クラークシップは、文字どおりクラーク（秘書）として医療スタッフと協力することで、病院業務から患者管理まで幅広く医療の実際を経験できることを目標とする。採血、腰椎穿刺、心電図、脳波、筋電図、CT、MRI、リハビリテーションなどを実際に施行または見学する。担当教員及び主治医が2週間を通じて指導し、習熟度については2週目金曜日に口頭試問、最終日提出のレポートで評価し、学生にフィードバックする。

外来ポリクリでは、問診、診察などを通じて、鑑別診断、検査治療計画をつくる能力を身につける。

3 G I O (一般目標)

神経疾患について理解するために、それらの概念、病因、病態生理、疫学、身体所見、検査データ、鑑別診断、治療、予後について基本的知識を整理し、技術を習得する。

4 S B O (到達目標)

- (1) クリニカルクラークシップを通じて、診断から治療までをトータルに考え、問題解決する能力を身につける。
- (2) 症例に関連した文献検索法を習得し、文献の読む力を向上させる。
- (3) メディカルインタビュー、基本的診察法（特に神経学的診察法）を身につける。
- (4) 難病患者の立場に立った医師の役割を理解する。
- (5) 患者とコミュニケーションをとる能力を身につける。
- (6) 看護師、薬剤師、検査技術師等とのチーム医療の必要性を学ぶ。

5 スケジュール

曜日	担当者	午 前	午 後
月	長井 三瀧 安部 白澤 稲垣 伊藤 田原	a.m.8:00～8:30 カンファレンス 8:30～オリエンテーション 病棟実習	レクチャー 病棟実習
火		8:00～カンファレンス 9:30～外来ポリクリ・レクチャー	病棟実習
水		8:00～カンファレンス 病棟実習	病棟実習
木		8:00～カンファレンス 病棟実習，レクチャー	病棟実習
金		8:30～カンファレンス（学生による症例発表含む） 11:00～病棟回診，症例検討会	総括 レポート作成，提出

神経放射線カンファレンス（火，18時～），脳卒中カンファレンス（未定，19時～）がそれぞれ月1回程度あるので，出席すること。場所は追って連絡する。

6 評価方法

基本的到達目標の達成度評価：口頭試問，レポート，出席状況，実習態度で評価する。
レポートは，担当した患者さんについての考察を，文献をふまえて作成すること。

7 その他の注意事項

- ・服装，マナーに注意。患者さんへの感謝・心配りとプライバシーの厳守。
- ・患者さんのベッドサイドには教科書など参考図書を持ち込まないこと。
- ・服装は襟付きのシャツに白衣，または，ケーシー型白衣とする。
（医療用であっても「サンダル」は禁止）
- ・ネームプレートの着用。
- ・時間厳守。
- ・患者さんの情報が漏れることのないように注意する。

膠原病内科

1 集合時間・集合場所

- (1) 集合時間 8:30
- (2) 集合場所 月, 火 AB病棟5階カンファレンス室
水, 木, 金 AB病棟4階カンファレンス室

2 実習概要 (実習内容)

クリニカルクラークシップによる指導を基本とする。すなわち、1名の学生に担当患者さんを1～2名当て、患者さんを受け持つようにさせる。入院時の検査、治療計画、治療中のマネージメントなどを主治医と相談しながら行うことで実践的な臨床の力を身につける。

毎日カルテに患者の状態、問題点、評価、計画を記入し、病態の把握と問題解決能力を身につける。朝のカンファレンスで担当患者の病状のポイントを報告する。

外来ポリクリでは、問診、診察などを通じて、鑑別診断、検査治療計画をつくる能力を身につける。

担当患者のリハビリテーションなどを実際に施行または見学する。

3 G I O (一般目標)

膠原病および膠原病類縁疾患について理解するために、それらの概念、病因、病態生理、疫学、臨床所見、検査所見、診断、治療法、予後について基本的知識を整理し、技術を習得する。また、免疫抑制状態にある患者で注意すべきこと、合併症などを通じて内科学全般の学習をする。ステロイド薬、免疫抑制薬、生物学的製剤について学ぶ。

4 S B O (到達目標)

- (1) クリニカルクラークシップを通じて、診断から治療までを考え、問題解決する能力を身につける。
- (2) 症例に関連した文献検索法を習得し、英語文献の読解力を向上させる。
- (3) メディカルインタビュー、基本的診察法を身につける。
- (4) 難病患者さんの立場に立った医師の役割を述べる。
- (5) 患者とのコミュニケーションをとる能力を身につける。
- (6) 看護師、薬剤師、検査技師等とのチーム医療の必要性を学ぶ。

5 スケジュール

曜日	8:30 集合 担当教員	12:30 13:30	
月	近藤	オリエンテーション (担当患者の割当) ミニレクチャー 病棟実習	病棟, 外来実習
火	本田	外来実習, 病棟実習	
水	村川	回診, 関節エコー実習 (本田)	病棟実習
木	近藤	病棟実習 クリニカルスキルアップセンター実習	(6年生によるレクチャー)
金	森山	外来実習, 病棟実習	外来実習, 病棟実習

曜日	8:30 集合 担当教員	12:30 13:30	
月	近藤	病棟実習, 外来実習	病棟, 外来実習
火	本田	外来実習, 病棟実習	
水	村川	回診, 症例検討, レクチャー	病棟実習
木	近藤	病棟実習	(6年生によるレクチャー)
金	村川	英文抄読会	総括 (村川)

6 評価法

カルテ記載, 実習態度

症例検討会での発表, 総括でのレポート発表 (USBに入れて持参)

担当症例の発表検討会における発表や質問

7 その他注意事項等

服装, マナーに注意

プライバシーの厳守, ネームプレートの着用

聴診器持参

循環器内科

1 集合時間・集合場所

- (1) 集合時間 8:30 (月曜日, 以降は指示に従って下さい)
- (2) 集合場所 臨床研究棟 5 階 内科学第 4 医局

2 実習概要 (内容)

2～3名の学生で入院患者さんを1～2名受け持ち, 担当患者さんの問診, 診察, 検査から得た情報を整理し, 問題把握, 鑑別診断, 治療法の決定のプロセスを病棟実習から学ぶ。また外来診療, 心臓カテーテル検査, 心エコー図検査を見学する。

3 G I O (一般目標)

循環器内科診療に必要な知識を習得する。

4 S B O (到達目標)

- (1) 毎日担当患者さんの診察を行う。
- (2) 問診, 基本的診療法を身につける。
- (3) 心電図が判読できるようになる。
- (4) 疾患についての病因, 病態, 検査, 治療について検討できる。
- (5) 担当患者さんに関連する実習テーマを持ち発表できる。

5 スケジュール

曜日	集合時間	場所	午 前	午 後
月	8:30	カンファレンスルーム	抄読会, カンファレンス, 回診	心カテ, 心エコー
火	8:30	医局	ミニレクチャー, 外来	心カテ, 講義
水	8:30	医局	ミニレクチャー, 心エコー	講義
木	8:30	医局	ミニレクチャー	心カテ
金	8:30	医局	ミニレクチャー, 心カテ	総括

6 評価法

履修態度, プレゼンテーション, 担当患者さんのレポートを参考にして評価する。

7 その他の注意事項

- (1) 時間厳守。
- (2) 白衣, 聴診器持参。
- (3) 服装, マナーに注意。
- (4) 個人情報の取扱いに注意。

腎 臓 内 科

1 集合時間・集合場所

月／水曜日 8:30 第二臨床研究棟 4 階 腎臓内科医局
火／木／金曜日 8:30 A 病棟 4 階詰所

2 実習概要（内容）

クリニカルクラークシップ
ミニマムエッセンスレクチャー

3 G I O（一般目標）

- (1) 病棟あるいは外来診察で患者さんを診ることにより，実地医療（腎疾患診療）の基本を体験学習する。
- (2) 医療の現場で真に求められているものは何であるのかを考え，体得する。

4 S B O（到達目標）

- (1) Problem Oriented System (POS) を理解し，POSにもとづく，診察の進め方と診療録の記載方法を習得する。
- (2) カンファレンスや回診を通して，プレゼンテーションスキルを磨く。
- (3) コアカリキュラムに沿って，臨床に則して腎疾患を理解する。

5 スケジュール

1 週目

曜日	担当教員	午 前	午 後
月曜日	福永 昇平 吉金かおり (川西未波留) (大庭 雅史) 星野 祐輝	8:30 カンファレンス（医局） 9:30 オリエンテーション 回診，患者紹介 10:00 レクチャー (カンファレンス室)	[13:00レクチャー (カンファレンス室)] 病棟実習
火曜日	伊藤 孝史 江川 雅博 福永 昇平 吉金かおり (川西未波留) 大庭 雅史 (星野 祐輝)	8:30 病棟（各自回診） 11:00 外来実習（11 診）	病棟実習 15:00 レクチャー (カンファレンス室)
水曜日	(伊藤 孝史) (江川 雅博) 吉金かおり (川西未波留) (大庭 雅史) (星野 祐輝)	8:30 カンファレンス（医局） 9:30 レクチャー (カンファレンス室)	病棟実習
木曜日	伊藤 孝史 江川 雅博 福永 昇平 吉金かおり 川西未波留 大庭 雅史 星野 祐輝	8:30 病棟（各自回診） 9:00 レクチャー (カンファレンス室)	13:00 腎生検（病棟） 14:00 カンファレンス (新患紹介，回診）（病棟） 16:30 抄読会（医局）

金曜日	伊藤 孝史 江川 雅博 吉金かおり 川西未波留 大庭 雅史 星野 祐輝	8:30 病棟（各自回診） 9:00 レクチャー （カンファレンス室） 11:00 外来実習（5 診）	病棟実習
-----	--	--	------

2 週目

曜日	担当教員	午 前	午 後
月曜日	福永 昇平 吉金かおり (川西未波留) (大庭 雅史) 星野 祐輝	8:30 カンファレンス（医局） 10:00 レクチャー （カンファレンス室）	[13:00レクチャー （カンファレンス室）] 病棟実習
火曜日	伊藤 孝史 江川 雅博 福永 昇平 吉金かおり (川西未波留) 大庭 雅史 (星野 祐輝)	8:30 病棟（各自回診） 11:00 外来実習（11 診）	病棟実習 15:00 レクチャー （カンファレンス室）
水曜日	(伊藤 孝史) (江川 雅博) 吉金かおり (川西未波留) (大庭 雅史) (星野 祐輝)	8:30 カンファレンス（医局） 9:00 レクチャー （カンファレンス室）	病棟実習
木曜日	伊藤 孝史 江川 雅博 福永 昇平 吉金かおり 川西未波留 大庭 雅史 星野 祐輝	8:30 病棟（各自回診） 9:00 レクチャー （カンファレンス室）	13:00 腎生検（病棟） 14:00 カンファレンス （新患紹介，回診）（病棟） 16:30 抄読会（医局）
金曜日	伊藤 孝史 江川 雅博 吉金かおり 川西未波留 大庭 雅史 星野 祐輝	8:30 病棟（各自回診） 9:00 レクチャー （カンファレンス室） 11:00 外来実習（5 診）	病棟実習 18:00 頃 総括（スライド発表）

レクチャー・総括の時間は、担当医師の都合によって変更になることがありますので、実習初日に予定表を配る予定です。

6 評価方法

- (1) 診療録記載内容
- (2) 課題のプレゼンテーション内容
- (3) 実習態度、総括でのプレゼンテーション内容

呼吸器・臨床腫瘍学（呼吸器・化学療法内科）

1 集合時間・集合場所

- (1) 集合時間 開始日 月曜日の午前8:30
- (2) 集合場所 B病棟6階カンファレンスルーム

2 実習概要（実習内容）

臨床の現場で医療チームの一員として医師として必要な基本的知識を修得する。

呼吸器・化学療法内科の症例を担当し、内科学全般にわたる基本的事項を学びつつ、臨床医に必要なものは何であるかを考え、医師としての心構えを養う。

3 G I O（一般目標）

- (1) 呼吸器病学，臨床腫瘍（腫瘍内科）学診療の基本を体験学習する。
- (2) 呼吸器病学と臨床腫瘍（腫瘍内科）学の minimum requirementを習得する。
- (3) EBMが臨床現場でいかに実践されるかを学ぶ。

4 S B O（行動目標）

- (1) 入院・外来患者を診ることにより，患者とのコミュニケーション，診察，指導医とのディスカッション能力を身につける。
- (2) コアカリキュラムに沿った呼吸器病，臨床腫瘍（腫瘍内科）学の minimum requirementを理解する。
- (3) カンファレンス，スライド発表を通じてプレゼンテーションスキルを磨く。

5 スケジュール

次ページ参照

6 評価法

- (1) 診療録記載方法，問題リストの作成
- (2) 課題のプレゼンテーション
- (3) 試験

7 その他注意事項等

第1週

曜日	担当教員	午 前	午 後
月曜日	スタッフ 医局員 大学院生	8:30 モーニングカンファレンス オリエンテーション 病棟・外来実習	酸素療法，在宅医療機器実習 病棟・外来実習
火曜日	スタッフ 医局員 大学院生	8:30 モーニングカンファレンス 病棟・外来実習（教授外来）	病棟実習（担当患者の把握） 外来実習（教授外来） 気管支鏡検査
水曜日	スタッフ 医局員 大学院生	8:30 モーニングカンファレンス 病棟・外来実習 レクチャー	画像診断アクティブラーニング 気管支鏡検査 病棟・外来実習
木曜日	スタッフ 医局員 大学院生	8:30 疾患カンファレンス 12:00 ランチセミナー	感染対策指導 病棟・外来実習
金曜日	スタッフ 医局員 大学院生	8:30 モーニングカンファレンス 病棟・外来実習	病棟・外来実習

第2週

月曜日	スタッフ 医局員 大学院生	8:30 モーニングカンファレンス 病棟・外来実習	病棟・外来実習 レクチャー
火曜日	スタッフ 医局員 大学院生	8:30 モーニングカンファレンス 病棟・外来実習（教授外来）	外来実習（教授外来） 気管支鏡検査 病棟実習
水曜日	スタッフ 医局員 大学院生	8:30 モーニングカンファレンス 病棟・外来実習 レクチャー	気管支鏡検査 病棟・外来実習
木曜日	スタッフ 医局員 大学院生	8:30 疾患カンファレンス 12:00 ランチセミナー	病棟・外来実習
金曜日	スタッフ 医局員 大学院生	8:30 モーニングカンファレンス 国家試験対策試験 病棟・外来実習	病棟・外来実習 教授総括

皮膚科

1 集合時間・集合場所

- (1) 集合時間 8:50
- (2) 集合場所 皮膚科外来処置室

2 実習概要（実習内容）

- (1) 外来実習：外来患者の問診と診療計画の立案，診療・皮膚処置・小手術の補助あるいは見学をする。
- (2) 病棟実習：皮膚疾患の入院治療を学習する。
- (3) 手術実習：手術の見学あるいは補助を行う。
- (4) 小講義：皮疹の見方について講義し，臨床研究の解説を行う。

3 G I O（一般目標）

皮膚疾患患者の診療を可能な限り体験し，皮膚疾患の病態解析，問題解決能力を養う。

4 S B O（到達目標）

- (1) 皮膚疾患患者への問診を通して，病歴を正確に聴取し，カルテに記載する技術を学ぶ。
- (2) 皮疹を正確に観察して，そのバックグラウンドを知ると共に診断・治療計画を考える能力を養う。
- (3) 簡単な皮膚科処置・小手術を経験する。

5 スケジュール

曜日	担当教員	8:30	12:30	13:30
月	金子他	オリエンテーション，外来実習		病棟回診，小講義，手術見学
火	林田他	外来実習		病棟実習他
水	千貫他	外来実習		病棟実習他
木	森田他	カンファレンス		カンファレンス
金	新原他	外来実習		手術見学，総括

6 評価法

臨床実習の出席状況，問診・カルテ記載の到達度，診察見学・カンファレンスでの積極性，情報収集等を総合的に評価する。

7 その他注意事項

- (1) 服装に注意する。
- (2) 担当患者の状態に気を配り，礼意を失しないよう心がけること。
- (3) メモ用紙を持参のこと。
- (4) 受け身な態度ではなく，積極的な態度を歓迎します。

小 児 科

1 集合時間・集合場所

- (1) 集合時間 8:30 a.m. (火曜日は8:00 a.m.)
- (2) 集合場所 C病棟 5 階 (緩和病棟) カンファレンスルーム

2 実習概要

- (1) クリニカルクラークシップによる指導とスモールレクチャーをおこなう。
- (2) 小児科診療現場において、患者さん・御家族に対する接し方を学ぶ。
- (3) 小児科の各専門分野の特殊な治療や検査を見学し、理解する。

3 G I O (一般目標)

小児の患者さん・御家族と医師との良好な関係をつくり、患者さんの状態を把握し適切な医療を行うために必要な知識、態度、および技能を修得する。

4 S B O (到達目標)

- (1) (小児センター入院中の) 患者さん・御家族と良好な関係が作れるように接し方を修得する。
- (2) 患者さん・御家族に不快感を与えない、身だしなみ、言葉遣いに配慮した医療人の態度を学ぶ。
- (3) 患者さん・御家族の話を共感しながら傾聴する。
- (4) 患者さん・御家族の話の中から必要な情報に焦点を当てて抽出する。
- (5) 問診・診察所見から、必要な検査計画と治療計画の立て方を学ぶ。
- (6) 小児科の基本的な診察・検査・治療技術のみならず、高度先進医療を見学し、入院治療が必要な患者さんに対する診療の実際を理解する。

5 スケジュール (次頁参照)

6 評価方法

- (1) 各担当教員が毎日、行動目標に沿って到達度を評価する。
- (2) 実習最終日に、各自が実習の成果を発表し、討論とサマリーをおこなう。

7 その他の注意事項

- (1) 臨床実習に際しては、自主的・主体的に行動し、受け身とならない。
- (2) 疑問点については、積極的に質問し、速やかな理解を心がける。
- (3) コミュニケーションスキルの向上に努める。

スケジュール

第1週

曜日	担当教員	8:00	8:30	9:00	11:00	12:30	13:30	15:00	17:30
月	小児科 スタッフ一同		MC	オリエン テーション	病棟実習		NICU紹介	新生児蘇生 スキルアップ	
火		退 院 検 討	MC	病棟実習	臨床遺伝		病棟・ NICU回診	病棟実習	CC/抄読会
水			MC	病棟実習	SL 臨床遺伝		健診見学または病棟実習		
木			MC	病棟実習, 又は心カテ	遺伝カウンセリ ングロールプレイ		病棟実習		
金			MC	病棟実習, 心カテ見学			ふりかえ		

MC：モーニング・カンファレンス SL：スモールレクチャー

第2週

曜日	担当教員	8:00	8:30	9:00	11:00	12:30	13:30	15:00	17:00
月	小児科 スタッフ一同		MC	病棟実習, 心カテ見学			病棟実習	血液SL	
火		退 院 検 討	MC	病棟実習, ケーススタディ			病棟・NICU回診		抄読会
水			MC	スキルラボ・トレーニング			健診見学または病棟実習		
木			MC	病棟実習, 又は心カテ	ケーススタディ		病棟実習	臨床指導 スキルアップセンター	
金			MC	病棟実習, 又は心カテ	サマリー				

MC：モーニング・カンファレンス SL：スモールレクチャー

消化器・総合外科

1 集合時間・集合場所

- (1) 集合時間 8:15 (木曜日は7:45から抄読会)
 (2) 集合場所 臨床研究棟 1 階 消化器・総合外科カンファレンスルーム

2 実習概要 (実習内容)

外来・入院患者における診療 (予診, 診察, 回診, 手術, 検査, 手術手技トレーニング) とカンファレンスに参加する。

3 G I O (一般目標)

外科疾患を診断し適切な治療方針をたてるために, 患者の予診, 診察を行い, また検査や手術内容, 基本的外科手技を理解する。

4 S B O (到達目標)

- (1) 適確な予診をとることができる。
 (2) 適確に診察を行うことができる。
 (3) 正確に手術方法を理解する。
 (4) 清潔, 不潔を識別し, 手洗いができる。
 (5) 外科的疾患について適切な検査法, 治療法を言える。
 (6) 内視鏡手術の基本的な手技を身につける。

5 スケジュール

5 年生 2 週間実習生用スケジュール (第 1 週)

曜日	担当教員	8:15	9:30	12:30	13:30	14:00	15:00
月	田 島	術前・術後カンファレンス	病棟実習 手術見学		症例検討		臨床講義
火	平 倉		病棟実習 手術見学			病棟回診 カンファレンス (症例検討)	
水	久 守		病棟実習 手術見学		外科実習 (内視鏡手術トレーニングセンター)		
木	川 畑		病棟実習 手術見学		症例検討		臨床講義
金	林 本		病棟実習 手術見学		症例検討		臨床講義

5年生2週間実習生用スケジュール（第2週）

曜日	担当教員		8:15	9:30	12:30	13:30	14:00	15:00
月	田 島	平 原	術前・術後カンファレンス	病棟実習 手術見学		症例検討		臨床講義
火	板 倉	久 守		病棟実習 手術見学		13:00～ 説明会	14:00～病棟回診・ カンファレンス (症例検討)	
水	林 本	山 西		病棟実習 手術見学		外科実習 (消化器・総合外科カンファレンスルーム)		
木	松 原	高 井		病棟実習 手術見学		小テスト		症例検討
金	百 留	藤 井		病棟実習 手術見学		臨床実習のまとめ		

6 評価法

出席状況，実習態度，観察記録，小テスト，自己評価表，レポートなどを総合的に評価する。

7 その他注意事項等

＊時間厳守 ＊白衣着用 ＊聴診器持参 ＊服装，態度に注意

＊病気等で休む場合は連絡すること。

＊学生には，あらかじめ実習内容と症例の割当表を配布するので各グループの代表者は，前週の金曜日に消化器・総合外科医局に取りに来ること。

循環器・呼吸器外科，心臓血管外科

- ・原則としてローテーター・スタッフにつき，診療の見学を行う。
- ・緊急手術の救急対応を見学したい場合は希望があれば可能である。
- ・適宜，呼吸器外科の手術の見学も行う。
- ・状況に応じて指導医のもとで末梢静脈ルートキープ，静脈・動脈採血を行う。

1 集合時間・集合場所

7時30分・臨床研究棟1階 循環器・呼吸器外科カンファレンス室

2 実習概要（実習内容）

- (1) 2週間を通して胸部外科，特に心臓血管外科の診療に参加しチーム医療を理解する。手術では術前からの検査所見や診断を理解し，実際に手洗いを行い手術に参加し，外科の手術を経験する。術後は集中治療室，病棟での急性期，亜急性期の診療に参加して，手術後の病態，管理を理解する。
- (2) 病棟では担当患者の診療に参加し，術前術後カンファレンス，回診を通じて胸部外科疾患に関する幅広い知識を養成するとともに，指導教員の下に実践的基本外科手技の実地訓練を行う。
- (3) 外来においては実際の外来診療に参加し，入院前後における知識の理解を深めるとともに，地域病院との連携を理解する。
- (4) ミニレクチャー（月，水）で心臓外科手術の流れを理解する。

3 G I O（一般目標）

外科学の一般的技術を理解し，臨床医として診断治療を行うのに必要な基本的態度を習得する。

心臓血管外科臨床実習において，特に以下の4項目を学び習得する。

- (1) 術前評価における総合的なリスク評価
- (2) 手術に積極的に参加する能力
- (3) 術後急性期の変化する病態の総合的把握
- (4) 基本的外科手技

4 S B O（到達目標）

- (1) 外科的手洗いができる
- (2) スタンダードプリコーションを実践できる
- (3) 正しい糸結びを実践に使えるレベルまで練習し体得する
- (4) 術前リスク評価をJapan score, STS score, EURO scoreで点数化して行い，実際の診療も踏まえてトータルな評価ができる
- (5) 受け持ち患者さんの手術では事前に手術の流れを把握しておき，助手として積極的に参加して手術の遂行に貢献できる

- (6) 術後急性期の経過について、血行動態（血圧，心係数，中心静脈圧，肺動脈圧肺静脈楔入圧など），呼吸，腎機能，炎症（感染症），凝固・線溶について臨床データ，検査データ，画像データ，治療内容（強心剤投与量や人工呼吸の設定など）などをまとめて総合的に評価できる

5 スケジュール

	7:30	7:45	8:00	8:30	9:00	13:00	15:00	16:00	17:00	17:30	18:00	
月	カンファレンス		病棟/ ICU回診			手術/ 病棟見学		手術/病棟見学/ ミニレクチャー (隔週)		病棟 回診		循環器合同 カンファ
火	理学療法士 合同カンファレンス		病棟/ ICU回診			手術		手術				
水	カンファレンス		病棟/ ICU回診		教授回診	外来/手術/病棟見学 ミニレクチャー (隔週)						
木	退院サマリ カンファレンス	外科抄読会		病棟/ ICU回診		手術		手術		手術ビデオ カンファ (不定期)		
金	カンファレンス		病棟/ ICU回診			外来/手術		血管吻合 (1 週目) 総括 (2 週目)		病棟 回診		

※糸結び，外科手技のレクチャーは随時行います。

6 評価法

臨床実習現場における口頭試問，レポート，出席状況

7 その他の注意事項

- (1) 病院実習における患者への態度，言葉遣い，服装に十分注意する。特に清潔（手，爪，髪の毛）には気をつける。
- (2) 白衣，聴診器持参。
- (3) 時間厳守。

呼吸器外科メイン

- ・原則としてローテーターと1対1または1対2でペアを組み、診療の見学を行う（希望人数により抽選になる場合もある）。
- ・術前カンファレンスで担当患者のプレゼンテーションを行う。
- ・緊急手術や気胸等への救急対応を見学したい場合は希望があれば可能である。
- ・心臓血管外科の手術の見学も行う。
- ・内視鏡手術トレーニングセンターにて鏡視下手術のシミュレーションを体験する。

1 集合時間・集合場所

月 曜	日 = 7時30分	臨床研究棟 1階	<u>循環器・呼吸器外科カンファレンス室</u>
火・水・金曜日	= 7時30分	前日に連絡	(ICUに患者が入室中の場合はICU)
木 曜	日 = 7時45分	臨床研究棟 1階	<u>消化器・総合外科カンファレンス室</u>

2 実習概要（実習内容）

- (1) 2週間を通して胸部外科，特に呼吸器外科の診療に参加しチーム医療を理解する。
手術では術前からの検査所見や診断を理解し，実際に手洗いを行い手術に参加し，外科の実践を会得する。術後は集中治療室，病棟での急性期，亜急性期の診療に参加して，手術後の病態，管理を理解する。
- (2) 病棟では担当患者の診療に参加し，術前術後カンファレンス，回診を通じて胸部外科疾患に関する幅広い知識を養成するとともに，指導教員の下に実践的基本外科手技の実地訓練を行う。
- (3) 外来においては実際の外来診療に参加し，入院前後における知識の理解を深めるとともに，地域病院との連携を理解する。

3 G I O（一般目標）

外科学の一般的技術を理解し，臨床医として診断治療を行うのに必要な基本的態度を習得する。

胸部外科，特に呼吸器外科における特性について理解し，知識を習得する。

4 S B O（到達目標）

基本的な診察法（医療面接，視診，聴診，打診，触診）を身につける。

外科的手洗い（手術のための手洗い）と衛生的手洗い（病棟診察のための手洗い）をしっかりと身につける。

外科的治療に関して，周術期における検査計画や治療計画を立てることができる。

これまでのチュートリアル教育で得た知識と，実際の担当患者から得た情報を対比し，実地体験の重要性を理解する。

5 スケジュール

7:30 7:45		8:30	9:00	14:00	15:00	16:00 17:30 18:00
月	術後Cf	手 術				
火	病棟回診		心外手術見学	手 術		呼吸器 Cf※
水	病棟回診		外来見学/ 内視鏡手術トレーニング	気管支鏡		内科合同 カンファレンス
木	外科抄読会	病棟回診	手 術			
金	病棟回診		外来見学	手術	総括(第2週目)	

- ・病棟回診集合場所は前日連絡（ICUに入室者の居る場合はICU集合）（第1週目）
- ・外来見学は外科外来集合
- ・気管支鏡検査は適宜行うが，施行する際は中央放射線室にて見学
- ・総括は第2週目金曜日に臨床研究棟1階循環器呼吸器外科カンファレンス室集合。各自レポートを5分程度で発表
- ※呼吸器Cfは毎月第2火曜日に放射線科医局カンファレンス室集合
- ・原則として手術の2日前に術前カンファレンスを行う

6 評価法

臨床実習現場における口頭試問，レポート，出席状況

7 その他の注意事項

- (1) 病院実習における患者への態度，言葉遣い，服装に十分注意する。特に清潔（手，爪，髪の毛）には気をつける。
- (2) 白衣，聴診器持参。
- (3) 時間厳守。

整 形 外 科

1 集合時間・集合場所

月 8:00 整形外科カンファレンスルーム
 火 9:00 手術室
 水 9:00 大学リハビリ室
 木 8:00 整形外科カンファレンスルーム
 金 9:30 整形外科カンファレンスルーム

2 実習概要 (実習内容)

スケジュール表参照

3 G I O (一般目標)

- (1) 整形外科の基本的な臨床的知識及び技能を身につける。
- (2) 医師としての基本的な好ましい態度や習慣を身につける。

4 S B O (到達目標)

- (1) 外来新来患者の診療に参加し、望ましい面接法、問診法を学ぶ。
- (2) 病歴の聴取を行い、心理的、社会的な問題点についても評価する。
- (3) 外来診療及び入院診療に参加し、基本的な整形外科的診察及び徒手検査を行う。
- (4) 問診と診察所見から情報を整理し、問題点や今後の診断法（検査法）を具体的に述べる。
- (5) 身だしなみ、言動などに注意し、患者さんとの信頼関係を築くための基本を学ぶ。
- (6) 医療行為（特に手術室において）を行う際の清潔・不潔の概念を明確にする。

5 スケジュール

曜日	担当教員	12:00 13:30		
月	内尾・馬庭・山本 桑田・門脇	外来（新患診療見学，予診 聴取），オリエンテーション		総回診，カンファレンス
火	内尾・馬庭・山本 山上・桑田・河野 今出・門脇	手術見学		手術見学
水	蓼沼・酒井	リハビリテーション・外来		リハビリテーション，手術，病棟回診
木	内尾・馬庭・山本 桑田・河野・今出 門脇	抄読会，手術見学		手術見学，カンファレンス
金	内尾・山本・山上 門脇	レポート発表とまとめ		手術見学

6 評価法

臨床実習への出席や態度，臨床実習での設問及びレポートによって行う。

脳 神 経 外 科

1 集合時間・集合場所

- (1) 集合時間 (月) 8:50
(火) (木) (金) 8:30
- (2) 集合場所 外来・中央診療棟 1 階 脳神経外科外来
ポリクリ準備室
(水曜日は集合時間・場所別途指示)

2 実習概要 (実習内容)

- (1) 脳神経外科学の実習
(2) 補助検査法の見学および読影実習
(3) 手術見学

3 G I O (一般目標)

将来いずれの専門分野に進んでも役立つ脳神経外科領域における基本的な知識と技能そして医療人としての望ましい態度習慣を修得する。

4 S B O (到達目標)

- (1) 脳神経外科学の診療において必要な検査を計画する。
(2) 患者情報を適切に要約し，文献検索などを積極的に活用し提供する。
(3) 診断・治療に関連する処置や操作について基本的手技を行う。
(4) 臨床技能の向上のためラボにおける実習を行う。(マイクロサージャリー，他)

5 スケジュール

曜日	担当教員	9:00	12:30	13:30
月	秋山 永井 宮崎 神原 吉金 中川	オリエンテーション，補助実習		手術見学，回診，臨床技能ラボ (15:30～)
火		外科実習および補助実習		脳血管撮影と血管内手術見学
水		手術見学および補助実習		手術見学および補助実習
木		血管内手術見学		回診，総合カンファレンス
金		抄読会，学習・教育効果の評価		学習・教育効果，臨床技能ラボ

6 評価法

出席点，レポート，実習手帳，実習に取り組む態度

* レポートの提出は必須

7 その他注意事項等

- (1) 患者さんに接するにふさわしい服装・言動
(2) 患者さんの個人情報の守秘義務 (個人情報保護法に従う)
(3) 患者さんのデータ等をコピーしないこと (紙媒体も含む)
(4) 白衣，筆記用具持参

泌 尿 器 科

1 集合時間・集合場所

月 8:15 臨床研究棟 2 階泌尿器科医局
 火 9:00 B病棟 5F
 水 8:15 臨床研究棟 2 階泌尿器科医局
 木 9:00 B病棟 5F
 金 8:15 臨床研究棟 2 階泌尿器科医局

2 実習概要（実習内容）

スケジュール表参照

3 G I O（一般目標）

泌尿器科の基本的診療に関する知識を身につける。

4 S B O（到達目標）

- (1) 問診，理学的検査を行う。
- (2) 尿検査を行い，結果を解釈する。
- (3) 典型例の画像を読影する。
- (4) 手術に参加する。

5 スケジュール

曜日	担当教員	8:15 9:00	12:30 13:20	13:20～16:50	18:30～20:30
月	椎名 安本 岸 洲村 平岡 小川 永見 安食 小池	オリエンテーション，手術			手術
火			回診，外来実習		外来実習
水		手術			手術
木			外来実習		外来実習
金		手術			病棟実習，口頭試問

※月曜日8:15に医局で週間予定表を渡すので，各自確認すること。

6 評価法

口頭試問

7 その他注意事項等

時間厳守，服装注意

精神科神経科

1 集合時間・集合場所

曜日	時間	場 所	時間	場 所
月	9:00	A病棟 8 階 スタッフステーション	13:15	B病棟 8 階 カンファレンスルーム
火	9:00※	精神科神経科外来 スタッフ廊下	(1 週目) 13:30 15:00 15:30	精神科神経科外来 5 診 心理講義ある日：精神医学医局 3 心理講義ない日：A病棟 8 階 精神医学医局 3
			(2 週目) 13:30 15:00 15:30	精神科神経科外来 5 診 A病棟 8 階 精神医学医局 3
水	9:00	精神科神経科外来 スタッフ廊下	(1 週目) 13:00 14:00 14:30 15:00	精神医学医局 3 A病棟 8 階 A病棟 8 階デイルーム A病棟 8 階
			(2 週目) 13:00 14:30 15:00	A病棟 8 階 A病棟 8 階デイルーム A病棟 8 階
木	9:00	精神科神経科外来 スタッフ廊下	(1 週目) 13:00 14:00 15:00	精神医学医局 3 A病棟 8 階 心理講義ある日：精神医学医局 3 心理講義ない日：A病棟 8 階
			(2 週目) 13:00	A病棟 8 階
金	9:00	精神科神経科外来 スタッフ廊下	(1 週目) 13:00 16:00	A病棟 8 階 心理講義ある日：精神医学医局 3 心理講義ない日：A病棟 8 階
			(2 週目) 13:00 16:00	A病棟 8 階 みらい棟 1 階副センター長室

※実習 1 週目の月曜日が休日に当たる場合、翌日火曜日は 9:00 に A 病棟 8 階に集合、9:30 より精神科神経科外来スタッフ廊下へ集合

2 実習概要（実習内容）

- (1) 精神科神経科外来実習および病棟実習を通して、基本的な診療技術を習得する。
- (2) レポートを作成し、翌週月曜日までに精神医学事務室へ提出する。

3 G I O（一般目標）

- (1) 精神神経疾患の主要症状について理解する。
- (2) 診断に必要な知識と技術について理解する。
- (3) 薬物療法や精神療法の意味について理解する。

4 S B O (到達目標)

- (1) 外来疾患の予診を行い、面接技術と診断技術とを実施できる。
- (2) 病棟実習において、担当患者の症状・診断・治療のあり方について理解できる。
- (3) 疾患についての原因、病態、治療、予後について検討できる。

5 スケジュール

(1) 1 週目

曜日	担当教員	9:00	9:30	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00	
月	稲垣 他	オリエン テーション	病棟実習			13:15 教授回診・カンファレンス				
火	長濱 他	外来実習 ※			自習	13:30 リエゾン回診	心理講義 または 病棟実習	P B L		
水	橋岡 他	外来実習			講義	病棟実習 14:30-15:00 病棟レク				
木	佐藤 他	外来実習			講義	病棟実習	心理講義 または 病棟実習	心理講義 または 病棟実習		
金	三浦 他	外来実習			病棟実習					心理講義 または 病棟実習

※ 1 週目の月曜日が休日の日は、火曜日9:00からA病棟8階でオリエンテーションを実施、その後外来実習とする。

(2) 2 週目

曜日	担当教員	9:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00
月	稲垣 他	病棟実習			13:15 教授回診・カンファレンス			
火	長濱 他	外来実習		自習	13:30 リエゾン回診	病棟 実習	P B L	
水	橋岡 他	外来実習		14:30-15:00 病棟レク 病棟実習				
木	佐藤 他	外来実習		病棟実習				
金	三浦 他	外来実習		病棟実習				講義

6 評価法

履修態度と理解の程度を、口頭試問およびレポートも参考にして担当教員が評価する。

7 その他注意事項

- (1) 時間厳守、無断欠席は不可、必ず届出をすること。
- (2) 服装、態度など、患者に不快感を与えないように注意すること。
- (3) 白衣、名札、ノート、筆記用具を持参すること。

産 科 婦 人 科

1 集合時間・集合場所

- (1) 集合時間 14:00 (初日)
- (2) 集合場所 B病棟 3 階 カンファレンス室

2 実習概要 (実習内容) : クリニカルクラークシップを実践する。

- (1) 外来で、外来担当医について、診断法、治療法について外来実習を行う。
- (2) ベッドサイドティーチング (2 週間にわたり 1 名の患者さんを受け持ち、主治医 1 名がついて病棟実習を行う。)
- (3) 手術見学
- (4) 講義 (ミニレクチャー)
- (5) 病理・MRIカンファレンス、放射線治療カンファレンスに参加する。
- (6) 抄読会 (水曜日、午前8:30) に参加する。
- (7) レポート作成と討論。

3 G I O (一般目標)

産科婦人科医療に必要な基本的検査・診断および治療のプロセスを理解する。

4 S B O (到達目標)

- (1) 外来にて、指導医のもと診察に立ち会い、診断に必要な検査プランを立案し鑑別診断の進め方、治療法を学ぶ。
- (2) 産婦人科診療の検査法を見学し、理解する。
- (3) 病棟患者を受け持ち、診断から治療までを自らの知識をもとに考え、検査に立ち会い、主治医とのディスカッションや文献的考察をして、解決する能力を修得する。
- (4) 分娩を第 1 期から出産まで見学し、分娩の過程を理解する。
- (5) ハイリスク妊娠の診断と母体管理を理解する。
- (6) 産科医の立場からハイリスク妊娠から出生した新生児 (未熟児) のNICUでの管理について理解する。
- (7) 手洗いをして手術に立ち会い、手術の基本的手技を理解する。

5 スケジュール

第1週	集合時間／場所	午前	午後
月			14:00 B3カンファレンス室集合 14:30 インTRODクシヨ(山下) 15:00 症例検討会 (B3病棟)
火	9:00 手術室集合	手術見学	手術見学
水	グループ A 8:30 B3カンファレンス室 グループ B 8:30 までに開業医	グループ A 教授外来 (10:00 外来) グループ B 開業医	ミニレクチャー (内視鏡手術：中山) ミニレクチャー (産科大出血：皆本)
木	9:00 手術室集合	手術見学	手術見学
金	9:00 外来	外来実習 (妊婦健診，婦人科外来)	ミニレクチャー (細胞診：石川) ミニレクチャー (帝王切開：山下) ミニレクチャー (エコー，正常分娩，NST：小野) 17:00 周産期カンファレンス (B3カンファレンス室)

第2週	集合時間／場所	午前	午後
月			15:00 症例検討会 (B3病棟)
火	9:00 手術室集合	手術見学	手術見学 ミニレクチャー (採卵：金崎)
水	グループ A 8:30 までに開業医 グループ B 8:30 B3カンファレンス室	グループ A 開業医 グループ B 教授外来 (10:00 外来)	ミニレクチャー (婦人科国試対策：石橋) ミニレクチャー (産科国試対策：折出)
木	9:00 手術室集合	手術見学	手術見学 ミニレクチャー (細胞診，鏡検：石川)
金		ミニレクチャー (研究紹介：中村)	症例のまとめ (京教授)

6 評価法

レポート (総括)

7 その他の注意事項等

- (1) 時間厳守。患者さんの個人情報厳守。
- (2) 医学生としてふさわしい服装や言動，行動をすること。

耳鼻咽喉・頭頸部外科学（耳鼻咽喉科感覚器領域・頭頸部外科領域）

- 1 集合時間・集合場所
 - (1) 集合時間 8:15
 - (2) 集合場所 B病棟8階ナースステーション
- 2 実習概要（実習内容）

医師として必要な耳鼻咽喉科学・頭頸部外科学の基本を実習通して学ぶ。
- 3 G I O（一般目標）

耳鼻咽喉科疾患の中で専門性の高い疾病の診断法並びに治療法についてその詳細を学ぶ。
- 4 S B O（到達目標）
 - (1) 機能解剖を十分に理解し、説明することができる（モデルを用いた講義，**A**）。
 - (2) 問診，視診といった外来診療の基本的手技を医療器具を使用して行うことが出来る（外来での実技指導，**B**）。
 - (3) 耳鼻咽喉科領域の生理学的検査（聴覚，平衡覚，嗅覚，味覚，顔面神経，音声機能検査，嚥下機能検査，**C**）について，検査を体験し，内容を理解する。
 - (4) 耳鼻咽喉科・頭頸部外科領域の代表的な疾患に関して，病態を考察し診断や治療計画を立てることが出来る（主治医の下で，入院患者の担当となる，**D**）。
 - (5) 耳科手術，鼻科手術，内視鏡下鼻副鼻腔手術の内容について習熟する（ビデオ供覧と実技指導，**E**）。
 - (6) 最新の診療技術（endoscopic ear surgery, navigation-assisted endoscopic sinus surgery, transoral videolaryngoscopic surgery, transoral robotic surgery, cochlear implant surgery）についてビデオを使った視覚的講義を受け，耳科，鼻科，口腔咽頭科，喉頭科，気管食道科領域の手術，頭頸部癌の根治的手術と再建手技への理解を深める，**F**。さらに，めまい症例については，中枢性めまい，末梢性めまい症例の眼振や，眼球運動異常などの多彩な症状について，赤外線CCD装置で撮影したビデオを鑑賞し，病態を理解する（資料を用いた演習と講義，ビデオ視聴，**G**）。
 - (7) 耳鼻咽喉科・頭頸部外科領域における救急疾患について理解を深め，緊急時の対応や治療の概要を理解する（資料を用いた演習と症例提示，実技指導，**H**）。
 - (8) 耳鼻咽喉科領域における薬物療法について，有効性の機序と起こりうるadverse eventについて理解する（資料を用いた演習と事例の呈示，**I**）。
 - (9) 代表的な疾患に対する保存的治療や外科的治療について，患者から承諾（informed consent）を得る場合の実際例について体験する（患者や主治医との同席，**J**）。
 - (10) 耳鼻咽喉科・頭頸部外科領域で使用する主な医療器具や材料に関して，知識を深める（材料部訪問，**K**）。
 - (11) 耳鼻咽喉科領域における，基礎研究・臨床研究の内容や今後の方向性について，その概略を理解する（研究室での紹介，**L**）。
 - (12) 耳鼻咽喉科専門医，頭頸部がん専門医（指導医），気管食道科学会認定医，補聴器相談医などの専門医制度と社会的貢献について理解する（講義，**M**）。
 - (13) 新専門医制度の中で，耳鼻咽喉科専門医の果たす役割について理解を深める（講義，**N**）。
 - (14) 島根県の地域医療における耳鼻咽喉科専門医の果たす役割について理解する（講義，**O**）。

5 スケジュール 1 週目

曜日	担当教員	8:30	12:30	13:30	15:00	17:00
月	森倉 他	オリエンテーション (病棟患者紹介) 手術見学			手術見学 外来での診療基本手技の解説	
火	森倉, 淵脇, 清水香 他	外来実習 課題演習・ビデオ視聴			病棟実習 課題演習・ビデオ視聴	
水	青井 他	クリニカルカンファレンス (外来, 病棟)			手術見学 鼻アレルギー外来 【舌下免疫療法】	
木	青井, 清水保, 柴田 他	外来実習 課題演習(救急症例)			聴覚・平衡機能検査実習 嗅覚・味覚・顔面神経	
金	青井 他	手術見学 課題演習			手術見学	

スケジュール 2 週目

曜日	担当教員	8:30	12:30	13:30	15:00	17:00
月	森倉 他	手術見学 課題演習			手術見学 課題演習	
火	森倉, 淵脇, 清水香 他	外来実習 課題演習・ビデオ視聴			病棟実習 課題演習(めまい症例)	
水	青井 他	クリニカルカンファレンス (外来, 病棟)			手術見学	Informed consent実習
木	青井・ 清水保 他	病棟実習 課題演習			症例発表(各人) 口頭試問・総評	
金	青井 他	手術見学 課題演習			手術見学 課題演習	

6 評価法

実習態度及び口頭試問で評価を行う。

7 その他注意事項等

- (1) 患者さん及び家族に接する際は臨床実習に携わる医学生として適切な言動に留意すること。
- (2) 臨床実習にあてられた期日, 時間を無駄にすることがないように体調には万全を期し, 欠席しないこと。

眼 科

1 集合時間・集合場所

(1) 集合時間	月	9:00	眼科外来第4診察室
(2) 集合場所	火	8:00	眼科医局カンファレンスルーム
	水	9:00	眼科外来第4診察室
	木	9:00	眼科外来第4診察室
	金	9:00	臨床研究棟5階 眼科教授室

2 実習概要 (実習内容)

スケジュール表参照。

3 G I O (一般目標)

眼科診療の実際に参加し，理解する。

4 S B O (到達目標)

- (1) 直像眼底鏡・細隙灯検査を習得する。
- (2) 主要疾患の手術適応，合併症及び手術理論と手技を検討できる。
- (3) 主要疾患の文献的考察ができる。

5 スケジュール

曜日	担当教員	9:00	13:00	15:00	17:00
月	原	9:00 眼科外来第4診察室		15:00 病棟 (教授回診) ・医局カンファレンス (カンファレンス)	
火	谷戸	8:00 医局カンファレンスルーム (抄読会) 8:45 眼科外来第4診察室		手術室 (手術見学)	
水	高井	9:00 眼科外来第4診察室		外来 (眼科検査・実習)	
木	小山・今町	9:00 眼科外来第4診察室		外来	
金	谷戸	9:00 眼科教授室 (総括)			

6 評価法

出席点，履修態度，レポート

7 その他の注意事項等

- ・教科書 (「標準眼科学」最新版，あるいは「現代の眼科学」最新版) を持参が望ましい

放射線科・放射線治療科

1 集合時間・集合場所

	月		火		水		木		金	
	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後
集合時間	9:00	12:45	8:00	12:45	9:00	13:30	9:30	13:30	9:00	13:10
集合場所	放射線科 医局 カンファレンス室	放射線部 血管室	放射線科 医局 カンファレンス室	放射線科 医局 カンファレンス室	放射線科 医局 カンファレンス室	放射線部 ポリクリ室	放射線 治療科 治療計画室	放射線部 ポリクリ室 もしくは 治療計画室	放射線科 医局 カンファレンス室	放射線部 ポリクリ室

火曜日 8 時～放射線科医局カンファレンス室で朝カンファレンス

2 実習概要（実習内容）

各種画像診断法の基礎，正常画像解剖，放射線治療の基礎。

3 G I O（一般目標）

診断に必要な放射線診断学，放射線治療学の基礎知識を習得する。

4 S B O（到達目標）

- (1) 胸部単純X線写真が順序だてて読影できる。
- (2) 肺・縦隔の正常解剖について説明でき，代表的な疾患を列举して，その画像上の特徴を記述できる。
- (3) 消化管の正常解剖について説明でき，代表的な疾患を列举して，その画像上の特徴を記述できる。
- (4) 腹部の正常解剖について説明でき，代表的な疾患を列举して，その画像上の特徴を記述できる。
- (5) 中枢神経系の正常解剖について説明でき，代表的な疾患を列举して，その画像上の特徴を記述できる。
- (6) 血管造影の方法・意義を説明できる。
- (7) MRIの原理・意義を説明できる。
- (8) CTの原理・意義を説明できる。
- (9) RIの意義とその適応疾患を説明できる。
- (10) 放射線治療の意義と目的を説明できる。
- (11) 放射線治療の適応となる代表的な疾患を列举し，治療方針・方法を説明できる。
- (12) 放射線治療計画の概要を説明できる。
- (13) 放射線治療の有害事象と対策を説明できる。
- (14) 被曝と放射線防護について説明できる。

5 スケジュール

曜日	担当教員 AM/PM	9:00	12:30	13:00	15:00	16:50
月	北垣／中村恩	オリエンテーション 画像診断			IVR検査見学	
火	北垣／勝部	8:00～読影勉強会 8:30～画像診断			12:45～症例検討 腹部画像診断	
水	吉廻／勝部	核医学			13:30～胸部画像診断	
木	伊元／植	9:30～放射線治療実習， レクチャー			13:30～ 放射線治療実習，レクチャー	
金	北垣／玉置	CNS, 実力テスト，総括			13:10～レポート発表準備 放射線治療カンファレンス レポート発表	

6 評価法

放射線科・放射線治療科それぞれにレポートを提出し評価
各担当教員が達成度をチェックして評価

7 その他の注意事項等

教科書・ノート・筆記用具持参
患者さんに不快感を与えない服装

麻 醉 科 ・ 緩 和 ケ ア

1 集合時間・集合場所

- (1) 集合時間 初日は8:15集合
- (2) 集合場所 C病棟3階手術部カンファレンスルーム

2 実習概要（実習内容）

臨床麻酔の見学・実習を通して麻酔法の種類、適応とその特徴を学習する。麻酔科学は全身管理学であるという観点より周術期における患者の全身管理について学習する。また手術麻酔以外に麻酔科医が行う、集中治療管理、ペインクリニック、緩和ケアの見学・実習を行い、麻酔科学が持つ幅広い領域における学習を行う。

3 G I O（一般目標）

麻酔科学に関わる知識（麻酔、集中治療、蘇生、ペインクリニックを含めた麻酔科学の基礎知識）を身につけ、全身管理学の必要性や具体的な治療管理を習得する。

4 S B O（到達目標）

- (1) 手術侵襲の観点から麻酔管理・周術期管理の必要性について説明できる。
- (2) 代表的な麻酔薬の薬理学的特徴を述べることができる。
- (3) 各麻酔法の種類とその特徴を説明できる。
- (4) 患者の周術期における術前合併症を列举できる。
- (5) 具体的な気道管理や人工呼吸療法について説明できる。
- (6) シミュレーション学習において、気管挿管を含む気道管理ができる。
- (7) シミュレーション学習において、麻酔による全身管理への影響をモニターを介して理解できる。
- (8) 麻酔中の患者に対し、適切な気道管理ができる。
- (9) 手術症例患者において循環・呼吸を中心に適切にフィジカルアセスメントおよびモニター管理を行うことができる。
- (10) 集中治療の適応疾患を記述できる。
- (11) 重症患者におけるフィジカルアセスメントを行うことができる。
- (12) 重症患者における重症度評価や治療戦略が理解できる。
- (13) 患者の重症度評価で周囲に理解できるようプレゼンテーションができる。
- (14) ペインクリニックの適応となる患者とその治療法を記述できる。
- (15) 緩和ケアの「全人的な苦痛」について理解できる。
- (16) 医療の国際化に対応できるよう、医学英語を用いて、レクチャーを通し外国人医師（講師）とコミュニケーションをとる。

5 スケジュール

第1週

曜日	午前	午後
月	オリエンテーション 麻酔全身管理見学 モニタリング概説	シミュレーション実習（気道管理） 麻酔関連薬概説 周術期合併症について
火	麻酔全身管理見学	シミュレーション実習（循環） 術前診察実習・症例検討
水	麻酔全身管理実習（症例担当）	麻酔全身管理実習（症例担当）
木	術後診察	I C U実習 オリエンテーション
金	I C U回診・カンファレンス I C U	I C U患者実習

第2週

曜日	午前	午後
月	I C U患者実習 I C U回診・カンファレンス	シミュレーション実習 （初期治療 呼吸管理）
火	I C U回診・カンファレンス 症例検討（I C U）	緩和ケア 病棟回診
水	ペインクリニック，外来実習（医療面接）	緩和ケア病棟実習
木	緩和ケア病棟実習	緩和ケア病棟実習 症例検討（緩和ケア）
金	総合討論・まとめ	試験

【担当教員】

麻酔担当教員：齊藤，佐倉，今町，二階，本岡，松田，横井_信，森，山本_花，榊原_賢，
橋本_愛，蓼沼，日下，青山，太田_絢，平林，上田_愛，松尾，石倉_聡，郡司，
八幡，足立，長野，石倉_凱，加藤，辻，大岡，市富

集中治療担当教員：齊藤，二階，三原，松田，太田_淳，和田，片山

ペインクリニック・緩和担当教員：齊藤，中谷，橋本_龍，須藤，本岡

総合討議担当：齊藤，佐倉，今町，二階，本岡，横井_信

歯 科 口 腔 外 科

1 集合時間・集合場所

(月) 8:45・医学部附属病院3階（歯科口腔外科外来）

(火)～(金) 9:00・同上

2 実習概要（実習内容）

歯科口腔外科および口腔ケアセンターの外来・入院診療や手術を見学・介助し、担当症例のカンファレンスおよび入院患者さんの総回診に出席する。

個別に主治医と共に入院患者さんを担当し、実際の症例について疾患の病態と治療について理解を深め、レポートを作成する。

3 G I O（一般目標）

全人的医療の中での口腔顎顔面の重要性を理解する。

4 S B O（到達目標）

(1) 診療を見学・介助し、歯科口腔外科の診療内容について理解を深める。

(2) 口腔顎顔面の疾病についての病因、病態、治療、予後について説明できる。

5 スケジュール

曜日	担当教員	午前	昼休憩	午後
月	管野, 狩野 秀島, 松田	8:45～12:30 ・オリエンテーション(症例配当) ・病棟処置, 手術介助	12:30 ～ 13:30	13:30～16:00 ・手術介助
火	管野, 狩野 秀島, 松田	9:00～12:30 ・病棟処置, 外来診療介助	同上	13:30～15:30・外来診療介助 15:30～16:00・医局会
水	管野, 狩野 秀島, 松田	9:00～12:30 ・病棟処置, 手術介助	同上	13:30～16:00 ・手術介助
木	管野, 狩野 秀島, 松田	9:00～12:30 ・病棟処置, 外来診療介助	同上	13:30～15:30・外来診療介助 15:30～16:30・総回診, カンファレンス, 症例検討発表
金	管野, 狩野 秀島, 松田	9:00～12:30 ・レポート提出, 手術介助	同上	13:30～16:00 ・手術介助

6 評価法

- ・出席状況, 履修態度
- ・レポート

7 その他注意事項等

- ・時間厳守
- ・服装, 身だしなみに気をつけること
- ・患者の個人情報の秘匿

臨床検査医学

検査部・輸血部・病理部・薬剤部

I. 臨床検査医学・検査部・輸血部・病理部

1 集合時間・集合場所

- (1) 集合時間 午前 9:00 午後 13:30
(2) 集合場所 外来棟2階 検査部ポリクリ室

2 実習概要 (実習内容)

医師として必要な臨床検査医学・輸血医学・病理診断学の基本を実技実習と検査成績の解析を通して学ぶ。

3 GIO (一般目標)

それぞれの検査の意義、手技と方法、検査値とその解釈の方法を学ぶことにより、臨床検査における検体採取から測定に至る過程と注意点を修得し、さらには疾病診断における臨床検査および病理診断の意義を理解し、その正しい利用法を修得する。

4 SBO (到達目標)

- (1) 検査オーダーから測定までの手順を説明する。
- (2) 静脈採血を実施し、適切な検体処理を行う。
- (3) 全血球数算定 (CBC)、血液凝固、血液生化学の基本的検査を実施する。
- (4) 尿沈渣標本、末梢血塗抹標本、細菌塗抹標本を作製、鏡検し、血球および細菌を分類する。
- (5) 血液型検査と交差適合試験を実施して、その原理と手順を修得し、輸血の可否を判定する。
- (6) 病理標本作製の過程を説明する。
- (7) 病理組織標本の観察を行い、病理診断の進め方を理解する。
- (8) 心電図 (標準12誘導)、呼吸機能検査、筋電図、神経伝導速度、脳波を記録し、判読する。

5 スケジュール

曜日	担当教員	9:00	12:30	13:30	16:30
月	矢野・吉野	イントロダクション 採血と基本的検査		尿・一般検査	
火	荒木・馬庭 丸山	検査部・輸血部見学 グラム染色		病理部見学・実習	
水	午前 薬剤部	薬剤部の項を参照 (集合時間は8:30)	午後 検査部 新田	13:45～ 生理機能検査実習	
木	石原・吉富	輸血検査実習		心電図判読演習 Reversed CPC	
金	井上・濱田 石飛	血液セミナー		脳神経生理セミナー、 脳波実習	

6 評価法

実習手帳に基づき、実習態度及び実習中の口頭試問・小テスト等で評価する。

7 その他注意事項

集合時間を守ること。

II. 薬剤部

1. 集合時間・集合場所

- (1) 集合時間 水曜日 8:30
- (2) 集合場所 附属病院C病棟1階薬剤部内 薬剤師室

2. 実習概要（実習内容）

- (1) 処方鑑査・解析：処方せんを用いて処方鑑査を行い、適正な処方を作成する上での注意点を理解する
- (2) 注射剤混合調製：2つの班に分かれて、中心静脈点滴注射剤（A班）あるいは抗がん剤注射剤（B班）の無菌混合調製を薬剤師の指導の下で実践することにより、薬剤調製にかかわる知識ならびに技能を習得する
- (3) チーム医療：ICU病棟において薬剤師が実施する薬学的管理を見学することにより、チームアプローチによる薬物療法適正化の重要性を理解する

3. G I O（一般目標）

医師として必要な処方作成および薬剤調製のための知識および技能を習得するとともに、チーム医療の重要性について理解する

4. S B O（到達目標）

- (1) 適正な処方せんが作成できる
- (2) 医療過誤防止のための処方鑑査の重要性を説明できる
- (3) 注射剤無菌調製が適切に実施できる
- (4) 薬物療法適正化のための薬学的管理の重要性を説明できる

5. スケジュール

時刻	実習項目（場所）	担当教員等
8:30～ 9:05	全体説明（薬剤師室）	直良，矢野，玉木
9:05～10:05	A 班：中心静脈点滴注射剤無菌調製（無菌製剤室） B 班：処方鑑査（調剤室）	尾村，他 平，他
10:05～10:20	休憩	
10:20～10:50	薬学的管理（ICU）	石原，狩野，他
10:50～11:50	A 班：処方鑑査（調剤室） B 班：抗がん剤注射剤調製（外来化学療法室）	平，他 玉木，陶山，渋谷，他
11:50～12:00	評価（薬剤師室）	直良，矢野，玉木

項目によりA班，B班（各2～3名）に分かれて実習する

6. 評価方法

出席状況，実習態度，実習中の口頭試問等により総合的に評価する

7. その他注意事項

- ・ 集合時間を厳守すること
- ・ 白衣を着用すること
- ・ 欠席する場合は事前に連絡（下記）をすること
- ・ 医療者としての身だしなみと態度に気をつけること

救 急 医 学

1 集合時間・集合場所

- (1) 月曜日の午前9時に救急外来カンファレンス室に集合すること。
- (2) 火曜日、木曜日は、朝8:15に出雲市消防本部（出雲市渡橋町253-1）へ集合
119番コールに従い救急隊とともに病院前救護の現場に行き、救命士が行う傷病者への観察、治療を直接見て体験します。現場に行くのは大変貴重な経験です。
☆消防本部受付で実習に来た旨を説明し、8:30からの署内でのラジオ体操に参加すること
☆その日の当務の救急隊長を探し挨拶すること
☆その後、消防の担当者により本部内や救急車両等の説明あり
☆119番コールがあり、救急車同乗の機会があれば最優先すること
☆署内では担当者の、救急車同乗中は救急隊長の指示に従うこと
☆出雲消防のご厚意で、同乗実習が可能になっていることを忘れずに礼節に努めること

2 実習概要（実習内容）

- (1) 月曜日は9時から申し送りに参加後、オリエンテーションを受ける。金曜日は夕からまとめ、（あれば）ER勉強会に参加する。（月曜が休みの場合、火曜日がオリエンテーション、消防実習は水曜と木曜に振り替える）
- (2) 各自、火曜または木曜のいずれかに救急車同乗実習に参加する
- (3) 月～金の夜勤のうち1人あたり2回の夜勤（18:00～23:00）に参加する
- (4) 各勤務中、1人当たり最低1患者の病歴聴取と身体診察を行い、検査・治療の方針について上級医とディスカッションする
- (5) 救急車で来院した患者のモニター装着、12誘導心電図、患者移動などを行う
- (6) 指定の実習レポートを最終日のまとめの際に提出する

3 G I O（一般目標）

救急医療の現場に入り、病院前から救急外来での患者になされる診療を理解することで、救急医療の果たす役割を理解する。

4 S B O（到達目標）

- (1) 救急医療をとりまく時代的、地理的背景を理解する
- (2) 病院前救急医療のシステムと救急隊員の工夫を説明できる
- (3) 島根大学病院の救急医療体制について説明できる
- (4) 救急外来を受診した患者を時間軸を意識して診療を組み立てることが出来る
- (5) 患者の重症度、緊急度を意識した診療を行うことが出来る
- (6) 患者の身体的訴えの背景にある社会的心理的事情にも思いを寄せることが出来る

5 スケジュール

曜日	担当教員	日勤 (9:00～18:00)	夜勤 (18:00～23:00)
月	救命救急センタースタッフ	(全員) 申し送り, オリエンテーション, ERミニレクチャー	ER実習 (2, 3名)
火		消防署 (2, 3名)	ER実習 (2, 3名)
水			ER実習 (2, 3名)
木		消防署 (2, 3名)	ER実習 (2, 3名)
金		(全員) ERミニレクチャー、まとめ	ER実習 (2, 3名)

6 評価法

担当教員が出席, 実習態度, 口頭試問により評価する。

7 その他の注意事項等

救急車同乗および救急外来では服装, 言葉使いには気をつけること。サンダル, ジーパン, 派手なシャツ, 香水などは不可

Acute Care Surgery

1 集合時間・集合場所

- (1) 集合時間 8:30 (火曜日は7:30から全症例カンファレンス)
- (2) 集合場所 高度外傷センター棟2階医局

2 実習概要

- (1) 高度外傷センターにおける外傷初期診療、救急外科初期診療を指導医とともに行う。
- (2) ICUおよび救命救急センター病棟HCUにおける入院患者の診療を学ぶ。
- (3) 緊急手術に参加して外傷外科・救急外科の手術法について学ぶ。
- (4) 術後集中治療について、ICUおよび救命病棟での術後管理に参加する。
- (5) ドクターカーを中心とした病院前診療について学習する。

3 G I O (一般目標)

外傷診療および救急外科疾患における初期対応から手術適応の判断、手術手技、術後集中治療の流れを理解し、それぞれの概要を習得する。

4 S B O (到達目標)

- (1) 外傷初期診療の流れを把握する。
- (2) 救急腹部疾患における診療の流れを把握する。
- (3) 身体所見から重症度の判断ができる。
- (4) 外傷初期診療の優先順位を理解し、治療戦略を説明できる。
- (5) 手術の適応と必要な治療法を理解する。
- (6) 術後集中治療に必要な診察、検査、治療に関して理解する。
- (7) 病院前の特殊性について理解する。

5 スケジュール

曜日	担当教員	8:30-	9:00-15:00	15:00-17:00	18:00-
月	渡部 比良	新患・重症 カンファレンス	外傷センター初期診療実習・手術見学・ICU管理実習	外傷センター初期診療実習・手術見学・ICU管理実習	夜勤実習 (指導医夜勤時)
火	木谷	全症例カンファレンス			
水	下条 岡	新患・重症 カンファレンス			
木	室野井				
金	藏本				

※火曜日は7:30から全症例カンファレンスと教授回診

6 評価法

出席状況、実習態度、プレゼンテーション、外傷初期診療シミュレーション。

7 その他注意事項

- (1) 月曜日～木曜日までに外傷初期診療に必要なスキルトレーニングを行い，最終日に外傷初期診療シミュレーションを行う。
- (2) 時間厳守。
- (3) 服装・態度に注意する。
- (4) 患者への言葉遣いに注意する。不用意な発言を慎むこと。
- (5) 白衣・聴診器を持参すること。
- (6) 患者情報に関する守秘義務を遵守すること。

地域医療・総合医療学

1 集合時間・集合場所

- (1) 集合時間
 - (2) 集合場所
- } スケジュール参照

2 実習概要（実習内容）

本コースの実習では、近接性（患者の生活の場の身近で行われる）、包括性（患者ならびに家族の環境にも考慮し、患者の抱えるどのような問題にも対応する）、継続性（問題発生時のみならず、予防段階から関与する）、協調性（専門医をはじめとする医療従事者と協働する）、責任性（説明責任と医療従事者の生涯教育を保証する）により特徴づけられるプライマリ・ケアについて、出雲市内の診療所（医院やクリニック）を中心に体験する。また、早朝セミナーやレクチャーなどを通じて、臨床能力の向上を目指すとともに、地域社会で求められている医療・福祉などについても広く学ぶ。

なお、本コースは、診療所の指導医（本学の臨床教授、臨床准教授等、乙立診療所は内科講座の教員）並びに地域医療教育学講座、総合医療学講座、地域医療支援学講座、卒後臨床研修センターの教員が連携して実施するものである。

3 G I O（一般目標）

地域医療機関および大学病院での医療体験を通して、地域社会で求められる医療や福祉等について理解し、プライマリ・ケアの臨床能力を修得する。

4 S B O（到達目標）

- (1) 地域におけるcommon disease、慢性疾患及び急性疾患の治療・管理を学ぶ。
- (2) 地域における健康増進・疾病予防を学ぶ。
- (3) 地域における救急医療、在宅医療を学ぶ。
- (4) 病診連携、病病連携を学ぶ。
- (5) 多職種連携のチーム医療を学ぶ。
- (6) 患者・医師のコミュニケーション技法を学ぶ。
- (7) シミュレータを使い実地的な医療技術を習得する。

5 スケジュール

午前			午後		
集合		担当教員	集合		担当教員
月	9:00	オリエンテーション 地域医療演習 みらいラウンジ* ¹	13:30	臨床推論 みらいラウンジ* ¹	鬼形 卒後臨床研修 センター
	8:20	診療所実習 ¹⁾ (2名)	16:00 # 3/30-10/25 17:00~	医療面接 (英語) 【みらい棟 2F 総合医療学講座 会議室】	木島 総合医療学 マルガリータ スウェーデン ルンド大学
火	8:30	家庭医医療実習 ²⁾ (2名) 出雲市民病院 1F 受付		総合医療学実習 (腰椎穿刺シミュレータ実習) スキルアップセンター	山形 大田総合医 育成センター
	7:30	早朝セミナー 初期研修医室* ¹	14:00	乙立診療所実習 (2名)	内科学第一 教員
水	8:30	臨床推論講義 【みらい棟 2F 総合医療学講座 会議室】		診療所実習 ³⁾ (3名)	渡辺
	10:00	総合診療外来実習 (外科外来* ³⁾ (2名)	14:00	乙立診療所実習 (2名)	内科学第二 教員
木	9:30	総合医療学実習 (縫合シミュレータ実習) スキルアップセンター		総合医療学実習 (心音聴診シミュレータ実習) (上記以外の学生) スキルアップセンター	高橋 大田総合医 育成センター
			14:00	乙立診療所実習 (2名: 16:30終了)	内科学第三 教員
金	次頁 参照	診療所実習 ⁴⁾ (4診療所 各1名)		総合医療学実習 (腎・膀胱・前立腺エコー シミュレータ実習) (上記以外の学生: 16:00終了) スキルアップセンター	本田 大田総合医 育成センター
			17:00	総括 (大学にて) みらいラウンジ* ¹	熊倉, 佐野 鬼形

- 1) どれみクリニック基常小児科
 - 2) 出雲市民病院
 - 3) わたなべこどもレディースクリニック
 - 4) 手納医院、遠藤クリニック、在宅診療所いずれも、ホームクリニック暖
- * 1 みらい棟 1F * 2 みらい棟 2F * 3 附属病院 1F

※月曜日が祝日のとき：火曜日 9:00「オリエンテーション」みらいラウンジ*¹ (佐野先生)
14:00「総合医療学実習」スキルアップセンター (山形先生)

※医療面接 (英語) スウェーデンと繋いで行うため、サマータイム対応

- ・ 17:00-18:00 に開催する日
3月16日、11月2日、12月7、21日、1月25日、2月8、22日
 - ・ 16:00-17:00 に開催する日
3月30日、4月13日、5月18日、6月1、15、29日、7月13、27日、9月7日、
10月5、19日
- ※ 3月16日、9月7日、12月21日はマルガリータ先生が不在のため別のセミナー

6 評価法

実習への出席や態度、目標に対する到達度等によって行う。

7 その他の注意事項等

- ◆実習施設の規則等に従い、業務に支障をきたさないよう心がける。
- ◆乙立里家診療所での実習の際、公民館での健康活動に参加する場合は有る。
- ◆実習の指導医の指示に常に従うこと。実習中にトラブルや不慮の事故があった場合は、必ず実習先の指導医及び地域医療教育学講座に連絡すること。
- ◆遅刻、無断欠席厳禁。
- ◆実習における学生の基本的医行為については、各実習施設が決定し実施する。なお、医行為は、必ず指導に当たる医師の指導・監視のもとに行うこと。
- ◆駐車場は、患者優先。一番遠いところに駐車すること。

病 院 名	集合時間	住 所	電 話	備 考
どれみクリニック 基常小児科	8時20分	出雲市塩冶町1523-2	21-1262	小児科, 小児循環器科, 国際医療ボランティア
わたなべこども レディースクリニック	14時00分	出雲市武志町836-3	30-8020	小児科, アレルギー科
乙立里家診療所	14時00分	出雲市乙立町3162	45-0106	水曜：内分泌代謝内科, 血液内科 木曜：消化器内科, 肝臓内科 金曜：神経内科, 膠原病内科
手納医院	8時15分	出雲市小山町300-3	22-6660	内分泌内科, 小児科, 眼科
在宅診療所いずも	8時30分	出雲市下古志町713-1	24-8151	内科, 麻酔科
遠藤クリニック	8時30分	出雲市渡橋町325-3	23-2021	呼吸器内科
ホームクリニック暖	8時45分	出雲市白枝町1035-4	25-7862	家庭医療, 在宅医療 (白衣不要・私服(清潔感のあるもの)で来院)
出雲市民病院	8時30分	出雲市塩冶町1536-1	21-2722	家庭医療科 実習は13:30まで 昼食提供有



どれみクリニック 基常小児科



在宅診療所いずも



わたなべこどもレディースクリニック



手納医院



遠藤クリニック



ホームクリニック暖



出雲市民病院

乙立里家診療所への行き方



出発 島根大学生協 医学部店
県道277号線

0m



島根大東

340m



医大南町1丁目付近
国道184号線

1.1km



出雲市付近
国道184号線

3.7km

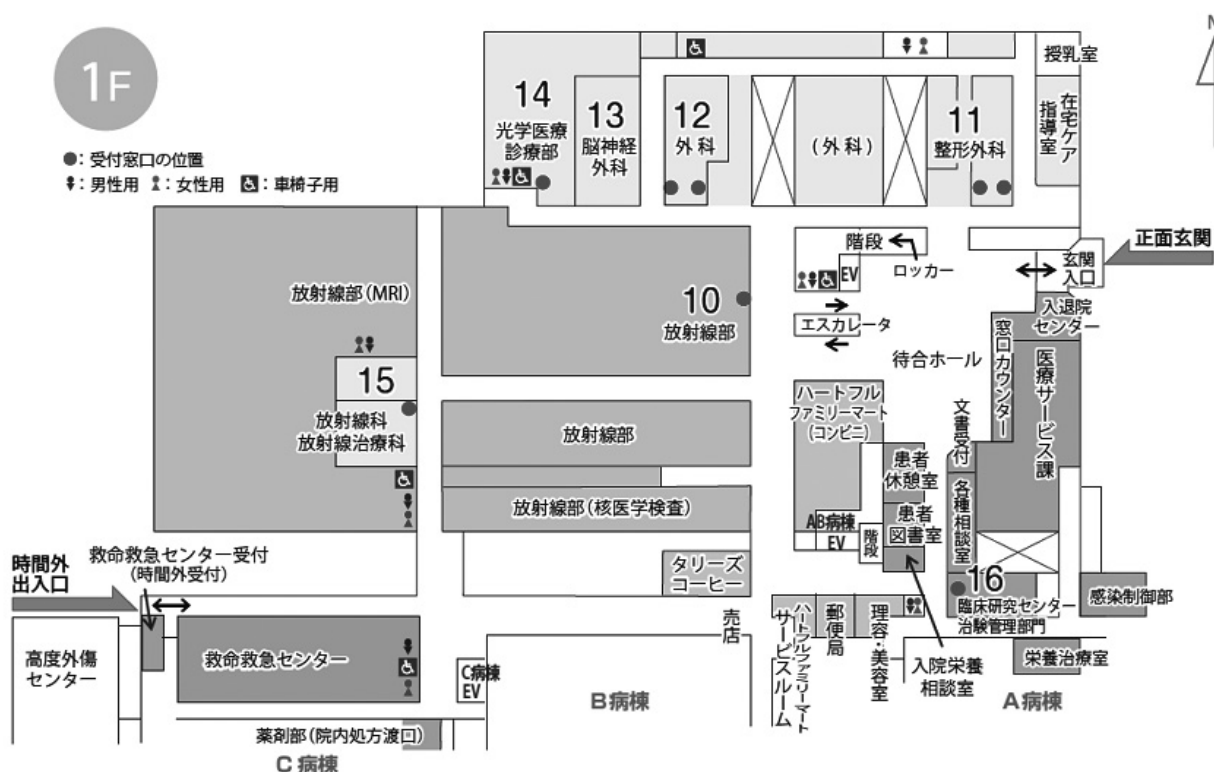


「乙立里家センター」
立久恵峠を通過し、坂を下って道が一つになった先
(100m位) 最初の信号のすぐ左側

病棟案内略図

病棟配置

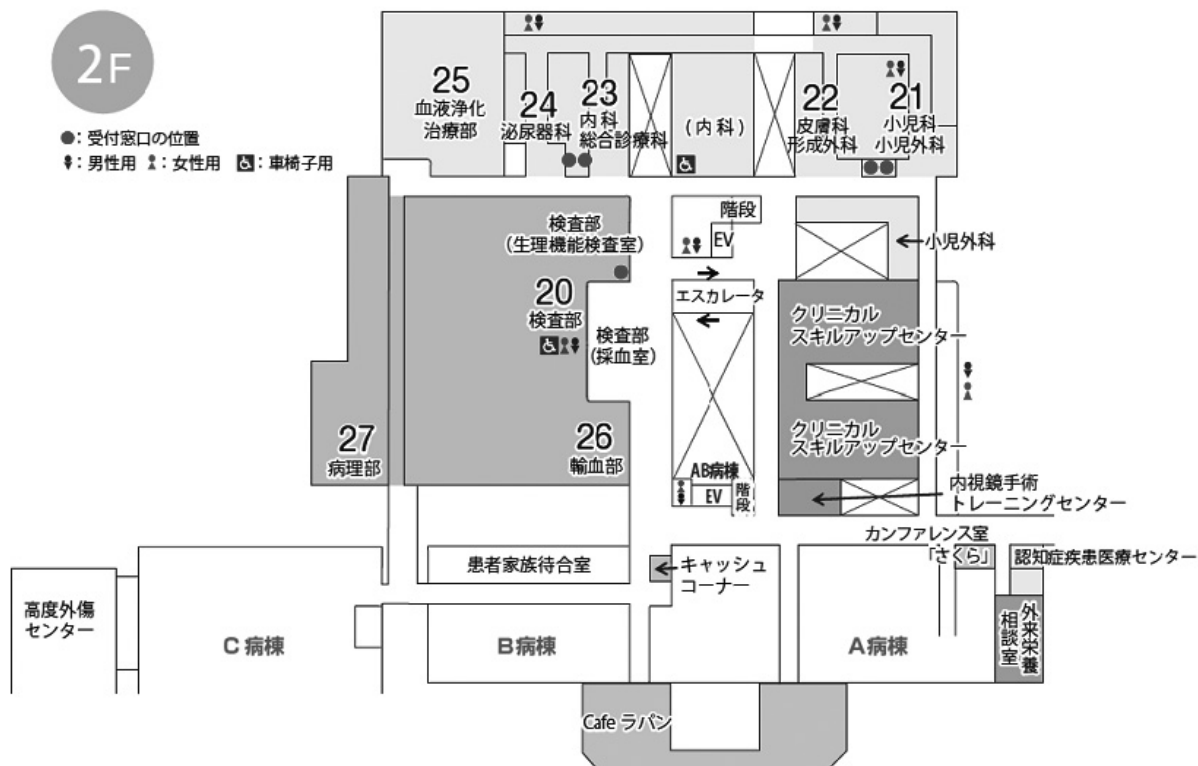
【C 病棟】		【B 病棟】		【A 病棟】	
9F	女性・個室病棟	耳鼻咽喉科、眼科 消化器内科		精神科神経科	
8F	先端がん治療センター病棟	消化器フロア			
7F	MCU	消化器総合外科		消化器内科、肝臓内科、消化器総合外科	
6F	小児センター病棟	循環器・呼吸器フロア			
5F	緩和ケア病棟	呼吸器・化学療法内科、心臓血管外科 総合診療科、呼吸器外科、整形外科		循環器内科、呼吸器・化学療法内科	
4F	(設備階)	脳神経フロア			
3F	手術部	脳神経外科、泌尿器科、小児科		神経内科、泌尿器科	
2F	ICU、HCU、MEセンター 救命救急センター病棟	膠原病内科、皮膚科 放射線科、放射線治療科、麻酔科 RI・シード、歯科口腔外科、婦人科		内分泌代謝内科、腫瘍・血液内科 腎臓内科	
1F	救命救急センター 材料部、薬剤部	産科、婦人科、整形外科			
		患者家族待合室 医師当直室、スタッフ室等		認知症疾患医療センター 外来栄養相談室、スタッフ室等	
		SPDセンター、リネン Aiセンター、剖検室等		栄養治療室 患者給食厨房、感染制御部	



2F

●: 受付窓口の位置

♂: 男性用 ♀: 女性用 ♿: 車椅子用



3F

●: 受付窓口の位置

♂: 男性用 ♀: 女性用 ♿: 車椅子用

